

# 消防年報



令和7年刊行  
陸前高田市消防本部

# は し が き

この年報は、陸前高田市消防本部における現状や活動実態をとりまとめたものです。

本書により、当消防本部の概況をご理解いただけるのなら幸いに存じます。

令和7年12月

陸前高田市消防本部

# 目 次

## 陸前高田市の地勢と位置

### 消 防 現 況 編

陸前高田市消防の沿革	1
陸前高田市消防の組織	14
消防本部の事務分掌	15
消防署の事務分掌	16
5年間の一般会計及び消防費決算額	17
5年間の消防費決算額構成比	17
消防職員の配置状況	18
消防職員の階級別勤続年数	18
消防職員の階級別年齢状況	18
消防施設の現有状況	19
消防車両の現有状況（消防本部・消防署）	19
消防職員技能資格取得状況	21

### 警 防 編

消防水利施設状況	22
----------	----

### 救 助 統 計 編

月別救助活動状況	23
事故種別救助活動状況	23

### 救 急 統 計 編

救急活動状況	24
曜日別救急活動状況	24
月別救急活動状況	25
日別救急活動状況	26
時間別救急活動状況	27
町別救急活動状況	28
年齢区分別・傷病程度別搬送人員状況	29
事故種別・医療機関別搬送人員	30
覚知別救急活動状況	31
月別出場隊別救急活動状況	32
救急救命士による特定行為実施状況	32
救急活動の推移	33
救急搬送人員の推移	36

## 予 防 編

建築確認申請・通知業態別同意状況	39
火災状況と町別火災発生状況	40
5年間の月別火災件数	41
月別火災予防広報状況	41
過去の火災記録	42
幼年消防クラブの状況	49
少年消防クラブの状況	49

## 通 信 指 令 編

消防車両別通信機器の設置状況	50
通信施設の保有状況	51
無線施設の保有状況	52
覚知別受信状況	53

## 消 防 団 編

消防団の組織	54
消防団幹部	55
消防団員の階級別現員数	56
消防団員の階級別年齢状況	56
消防団の消防車両等の配置状況	57
消防ポンプの現勢	
(1) 消防ポンプ車	58
(2) 小型動力ポンプと積載車	59

## 陸前高田市ポンプ配置図

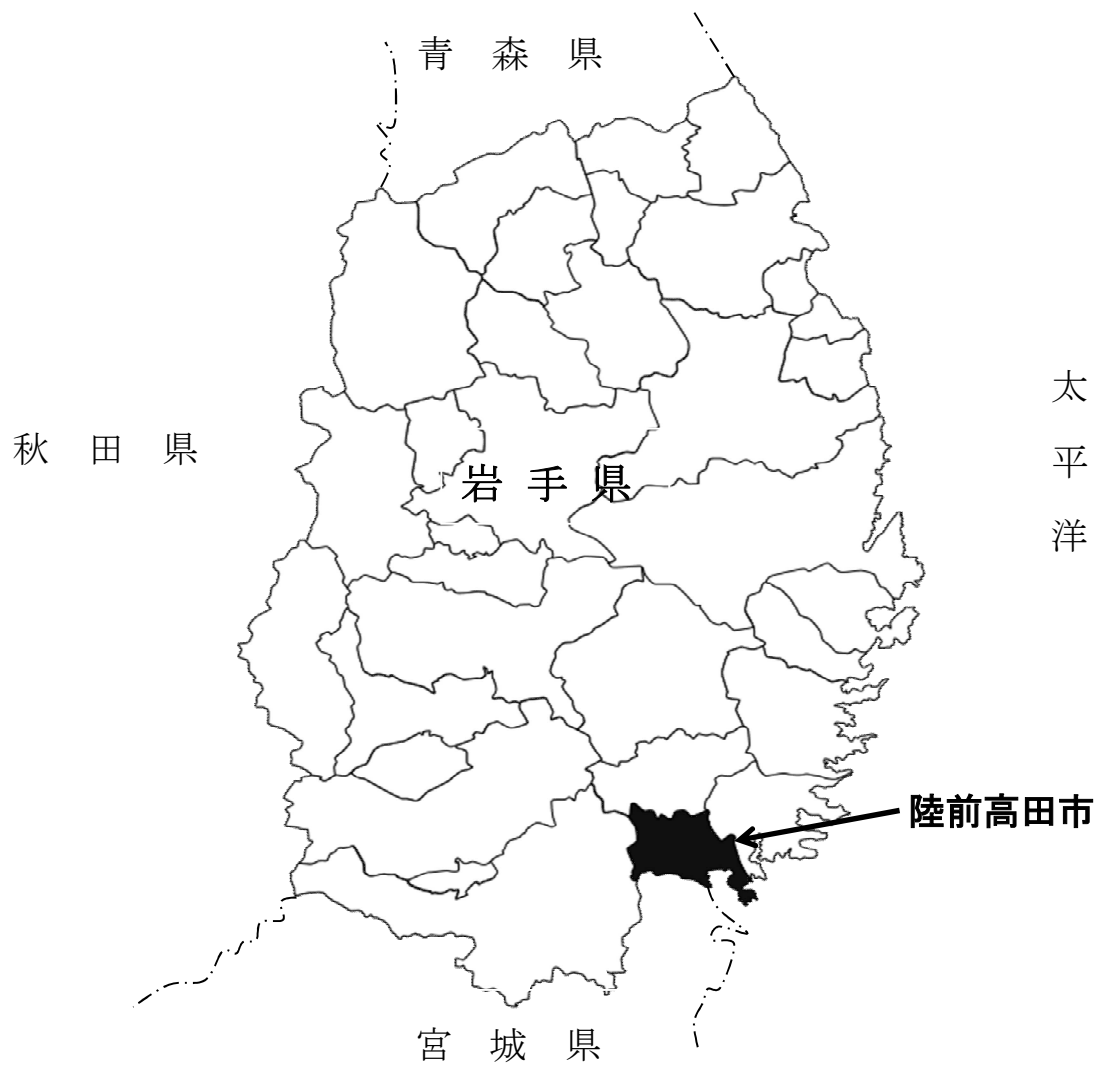
# 陸前高田市の地勢と位置

当市は、岩手県の東南部に位置し、北は住田町、東は大船渡市、南は宮城県気仙沼市、西は一関市に接しており、東南は太平洋に面し、三陸復興国立公園の南部に位置しています。また、三陸特有のリアス式海岸は絶壁と屈曲による景勝を有しています。

(令和 7 年 4 月 1 日現在)

位 置		面 積 (km <sup>2</sup> )	人 口 (人)	世 帯 数 (戸)	1 km <sup>2</sup> 当り	
東 経	北 緯				人 口	世 帯
141. 27 }	38. 56 }	231. 94	16, 995	7, 527	73. 3	32. 5
141. 43	39. 07					

## 陸 前 高 田 市 の 位 置



# 消防現況編

## 陸前高田市消防の沿革

年	月	日	出 来 事
昭和	30.	1. 1	3 町 5 カ村の合併による陸前高田市の市制施行に伴い、町村の消防団を解く
		〃	陸前高田市消防団結成
		〃	初代消防団長菅野一夫氏以下団員 1,288 名(組織数 8 分団)
		〃	陸前高田市役所民生課に消防係を置く
	30.	9. 1	高田分団第 4 部消防屯所落成
昭和	31.	5. 10	米崎分団第 3 部消防屯所落成
昭和	32.	12. 1	陸前高田市消防本部を設置
		〃	助役熊谷喜一郎氏初代消防長事務取扱に就任
昭和	33.	3. 7	消防団に岩手県消防協会竿頭綬を授与される
	33.	8. 25	消防団本部に連絡車(ジープ)を配置
	33.	12. 5	気仙分団第 1 部消防詰所完成
	33.	12. 31	消防団長菅野一夫氏退任
昭和	34.	1. 1	熊谷小一郎氏消防団長に就任
	34.	2. 2	米崎分団班長熊谷忠雄氏火災出動の際殉職
	34.	3. 4	消防本部に消防ポンプ車を購入配置
	34.	4. 20	米崎分団第 1 部消防屯所増改築
	34.	12. 25	米崎分団第 3 部に消防ポンプ車(ジープ)を購入配置
昭和	35.	5. 24	チリ地震津波来襲
	35.	9. 10	チリ地震津波の際の功績により、消防庁長官表彰、日本消防協会功労旗、岩手県知事功労竿頭綬をそれぞれ授与される
	35.	9. 20	広田分団第 6 部小型動力ポンプ更新
	35.	10. 1	消防団員の定員を 1,050 名とする
	35.	12. 1	小友分団第 1 部消防屯所落成
昭和	36.	5. 5	消防本部に出力 200W の非常放送設備を配置
	36.	8. 12	気仙分団第 3 部消防屯所落成
	36.	9. 20	気仙分団第 3 部に消防ポンプ車(ジープ)を購入配置
	36.	9. 25	小友分団第 1 部小型動力ポンプ更新
昭和	37.	2. 19	消防本部消防ポンプ車更新
		〃	消防本部の消防ポンプ車を米崎分団第 1 部に配置換え
	37.	3. 7	消防団長熊谷小一郎氏黄綬褒章を授与される
		〃	消防団長熊谷小一郎氏勲六等瑞宝章を授与される
	37.	5. 30	矢作分団第 3 部消防屯所落成
	37.	9. 20	竹駒分団第 3 部消防ポンプ車更新
	37.	11. 2	高田分団第 3 部消防ポンプ車更新
	37.	11. 9	気仙分団第 4 部、広田分団第 1 部・第 5 部、矢作分団第 1 部・第 2 部・第 3 部、竹駒分団第 2 部小型動力ポンプ更新
	38.	1. 23	消防長事務取扱助役熊谷喜一郎氏退任

年 月 日		出 来 事
昭和	38. 4. 15	助役畠山良治氏消防長事務取扱に就任
	38. 5. 1	消防職員 1 名を採用
	38. 6. 1	広田町椿島付近において遭難した第 3 福寿丸の救助活動に対して、福島県知事より感謝状を授与される
	38. 7. 1	消防職員 9 名を採用
	38.10. 1	消防署を開設する(消防ポンプ車 1 台、人員 12 名)
昭和	39. 4. 1	消防職員 1 名を採用
	39. 4. 15	竹駒分団第 2 部消防屯所落成
	39.10. 1	消防団員の定数を 875 名とする
	39.11. 6	消防本部に指揮車を購入配置
	39.11.15	高田分団第 1 部、広田分団第 7 部、小友分団第 2 部小型動力ポンプ更新
昭和	40. 2. 15	消防署移転(旧公益質屋改装)
	40. 2. 20	県立高田高校火災の火災防ぎょに対し、岩手県教育委員会より感謝状を授与される
	40. 4. 1	消防職員 4 名を採用
	〃	長部婦人消防協力隊を結成
	40. 9. 10	広田分団第 3 部、横田分団第 1 部・第 2 部・第 3 部小型動力ポンプ更新
昭和	40.11. 8	市制施行 10 周年記念消防祭を開催
	41. 2. 11	消防団に日本消防協会より竿頭綬を授与される
	41. 4. 1	消防職員 3 名を採用
	41. 4. 29	消防団長熊谷小一郎氏勲五等瑞宝章を授与される
	41. 9. 5	高田分団第 5 部小型動力ポンプ更新
昭和	41.11.17	横田分団第 2 部消防ポンプ車更新
	42. 3. 7	消防庁長官より優良消防機関として、消防本部・消防団に竿頭綬を授与される
	42. 3. 31	気仙分団第 4 部消防屯所落成
	〃	消防長事務取扱助役畠山良治氏退任
	42. 4. 1	消防次長伊東齊氏消防長に就任(署長兼務)
昭和	42. 7. 18	米崎分団第 2 部消防ポンプ車更新
	43. 3. 28	消防用無線電話開局(基地局 1 基、移動局 4 基、携帯移動局 2 基)
	43. 4. 1	消防職員 2 名を採用
	43. 9. 1	高松宮賜杯第 12 回全国軟式野球大会が高松宮殿下をお迎えして開催される
	43. 9. 22	広田分団第 4 部班長臼井保治郎氏殉職
昭和	43.12.12	小友分団第 4 部消防ポンプ車更新
	43.12.31	消防団長熊谷小一郎氏退任
	44. 1. 1	柴田虎尾氏消防団長に就任
	〃	広田分団第 4 部、竹駒分団第 1 部消防屯所落成
	44. 4. 1	消防職員 1 名を採用
昭和	〃	盛岡気象台委託により気象観測所を開設
	44. 6. 27	気仙分団第 1 部消防ポンプ車更新



年	月	日	出 来 事
昭和	44.	11. 3	横田分団長菅野亀八氏勲七等青色桐葉章を授与される
	44.	11. 10	株式会社酔仙酒造より赤バイ(350cc)が寄贈される
昭和	45.	1. 28	日本自動車工業会より救急車を寄贈される
	45.	3. 27	岩手県知事より消防本部・消防団に表彰旗が授与される
	45.	4. 1	消防職員 5 名を採用
	45.	8. 2	全日本大学準硬式野球大会が高松宮殿下、同妃殿下をお迎えして開催される
	45.	8. 21	気仙分団第 2 部・第 4 部に小型動力ポンプ付積載車を購入配置
	45.	8. 25	矢作分団第 3 部消防ポンプ車更新
	45.	10. 11	第 25 回国民体育大会の軟式野球競技が開催され、三笠宮妃殿下が本市にお立ち寄りになる
昭和	46.	2. 21	日本消防協会より表彰旗を授与される
	46.	5. 15	横田分団第 1 部消防屯所落成
	46.	9. 7	矢作分団第 2 部消防ポンプ車更新
	46.	9. 14	高田分団第 1 部に小型動力ポンプ付積載車を購入配置
	46.	12. 27	横田分団第 2 部消防屯所落成
昭和	47.	2. 20	横田分団第 3 部消防屯所落成
	47.	9. 29	広田分団第 1 部消防ポンプ車更新
	47.	11. 3	元分団長境井 悠祐氏勲六等瑞宝章を授与される
	47.	11. 13	広田分団第 4 部消防屯所落成
	47.	11. 20	広田分団第 1 部消防屯所落成
	47.	12. 31	消防団長柴田虎尾氏退任
昭和	48.	1. 1	菅野金雄氏消防団長に就任
	48.	3. 1	消防庁長官より消防本部・消防団に竿頭綬が授与される
	48.	3. 24	消防団員の定数を 865 名とする
	48.	8. 25	消防本部に水槽付消防ポンプ車を購入配置
	48.	9. 1	岩手県総合防災訓練が当市で開催される
	48.	11. 13	元副団長平坂嘉右ヱ門氏勲六等瑞宝章を授与される
	48.	12. 28	横田分団第 3 部に小型動力ポンプ付積載車を購入配置
昭和	49.	1. 12	広田分団第 6 部消防屯所落成
	49.	4. 12	広田分団第 7 部、矢作分団第 2 部消防屯所を改築
	49.	5. 20	天皇・皇后両陛下本市に行幸啓、消防特別警備を実施
	49.	9. 15	消防本部に(社)日本損害保険協会より消防ポンプ車(ジープ)を寄贈される
	49.	9. 20	矢作分団第 1 部消防ポンプ車更新
昭和	50.	4. 1	消防長伊東斉氏退任
	〃		消防職員 1 名を採用
	50.	4. 2	助役村上富雄氏消防長事務取扱に就任
	50.	5. 15	高田分団第 4 部小型動力ポンプ更新
	50.	6. 20	広田分団第 1 部消防屯所落成
	50.	6. 30	広田分団第 4 部に小型動力ポンプ付積載車を購入配置
	50.	8. 2	高田分団第 4 部に小型動力ポンプ付積載車を購入配置

年	月	日	出 来 事
昭和	50.	10. 28	消防本部に農協共済より救急車を寄贈される
昭和	51.	3. 31	盛岡气象台より委託の観測所が廃止となる
	51.	10. 5	消防本部指揮車更新
	51.	11. 10	広田分団第 2 部小型動力ポンプ更新
昭和	52.	4. 1	消防職員 1 名を採用
	52.	7. 2	横田分団第 1 部に小型動力ポンプ付積載車を購入配置
	52.	11. 3	元副団長佐々木進氏勲七等瑞宝章を授与される
昭和	53.	2. 25	消防署新庁舎落成
	53.	2. 28	高田分団第 1 部消防屯所落成
	53.	3. 26	市制施行 25 周年及び消防新庁舎落成を記念して特別非常招集訓練を実施
	53.	4. 1	消防職員 1 名を採用
	53.	7. 26	救助技術東北大会に出場
	53.	8. 25	米崎分団第 1 部消防ポンプ車(ジープ)更新
	53.	10. 6	竹駒分団第 1 部に小型動力ポンプ付積載車を購入配置
	53.	12. 10	日本消防協会会長笹川良一氏来市、消防講演会を開催
	53.	12. 12	広田分団第 3 部消防屯所落成
昭和	54.	7. 24	高田分団第 3 部・第 5 部、小友分団第 3 部、矢作分団第 1 部消防屯所落成
	〃		救助技術東北大会に出場
	54.	8. 24	救助技術全国大会に出場
	54.	9. 25	小友分団第 3 部、米崎分団第 3 部に小型動力ポンプ付積載車を購入配置
	54.	12. 24	高田分団第 2 部・第 5 部に小型動力ポンプ付積載車を購入配置
昭和	55.	3. 31	横田分団第 1 部消防屯所落成
	55.	4. 1	消防職員 1 名を採用
	55.	6. 11	全国防災協会より昭和 54 年 10 月の豪雨の際の功労により表彰状を授与される
	55.	7. 25	救助技術東北大会に出場
	55.	8. 29	救助技術全国大会に出場
	55.	9. 18	気象観測装置を設置
	55.	9. 30	広田分団第 6 部、小友分団第 1 部小型動力ポンプ更新
	55.	10. 7	矢作分団第 3 部消防屯所落成
	55.	10. 14	気仙分団第 3 部消防ポンプ車更新
	55.	11. 6	気仙分団第 3 部消防屯所増改築
	55.	11. 27	建設大臣より昭和 54 年 10 月の豪雨の際の功労により表彰状を授与される
	55.	11. 30	消防団長菅野金雄氏退任
	55.	12. 1	熊谷信治郎氏消防団長に就任
	55.	12. 25	米崎分団第 3 部消防屯所移転工事落成
昭和	56.	2. 3	岩手県防災行政無線開局
	56.	4. 1	消防職員 1 名を採用
	56.	4. 29	元矢作分団長川村一郎氏勲六等瑞宝章を授与される
	56.	6. 25	高田分団第 3 部消防ポンプ車更新
	56.	10. 7	広田分団第 4 部小型動力ポンプ更新

年	月	日	出 来 事
昭和	56.	10. 7	気仙分団第 4 部に小型動力ポンプ付積載車を購入配置
	56.	10. 14	消防本部に日本消防協会より軽可搬ポンプを寄贈される
昭和	57.	3. 3	三陸津波 50 回忌特別避難訓練を実施
	57.	4. 1	消防職員 1 名を採用
	57.	4. 29	元竹駒分団長菅野茂氏勲六等瑞宝章を授与される
	57.	6. 23	気仙分団第 2 部に小型動力ポンプ付積載車を購入配置
	57.	7. 13	広田分団第 5 部、小友分団第 2 部小型動力ポンプ更新
	57.	7. 23	救助技術東北大会に出場
	57.	8. 19	救助技術全国大会に出場
	57.	8. 24	日本消防協会より小型動力ポンプ付積載車を寄贈され、広田分団第 3 部に配置
	57.	9. 30	竹駒分団第 3 部消防ポンプ車更新
昭和	58.	2. 7	消防本部に自治省消防庁((社)日本損害保険協会)より救急車を寄贈される
	58.	3. 7	消防長事務取扱助役村上富雄氏退任
	58.	4. 1	消防次長佐々木一郎氏消防長に就任(署長兼務)
	58.	6. 18	高田分団第 1 部小型動力ポンプ付積載車、矢作分団第 1 部・第 2 部・第 3 部、竹駒分団第 2 部小型動力ポンプ更新
	58.	7. 28	救助技術東北大会に出場
	58.	9. 24	高田分団第 1 部消防屯所落成
	58.	10. 4	小友分団第 1 部消防屯所落成
昭和	59.	1. 1	高田分団第 1 部を分離し、高田分団第 6 部を増設
	59.	4. 29	元竹駒分団長大坂岩幹氏勲六等瑞宝章を授与される
	59.	7. 20	広田分団第 7 部、横田分団第 1 部・第 3 部小型動力ポンプ更新
	59.	11. 3	元矢作分団長吉田高氏勲六等瑞宝章を授与される
	59.	11. 8	市防災行政無線開局
昭和	60.	1. 18	広田分団第 6 部小型動力ポンプ付積載車更新
	60.	3. 30	広田分団第 2 部、竹駒分団第 2 部消防屯所落成
	60.	3. 31	消防長佐々木一郎氏退任
	60.	4. 1	水産課長村上敬太郎氏消防長に就任
	〃		消防職員 1 名を採用
	60.	8. 30	小友分団第 2 部小型動力ポンプ付積載車更新
	60.	10. 26	市制施行 30 周年記念消防祭を開催
	60.	11. 30	高田分団第 1 部小型動力ポンプ付積載車更新
昭和	61.	1. 7	気仙分団第 1 部消防屯所落成
	61.	2. 6	横田分団第 2 部消防屯所落成
	61.	4. 1	消防職員 1 名を採用
	61.	5. 1	陸前高田市幼年消防クラブ(12 施設)を結成
	61.	7. 24	救助技術東北大会に出場
	61.	7. 29	広田分団第 2 部小型動力ポンプ付積載車更新
	61.	9. 22	横田分団第 2 部消防ポンプ車更新
	61.	10. 1	陸前高田市幼少年婦人防火委員会を設立

年	月	日	出 来 事
昭和	61.	10. 11	幼年消防クラブ結成大会を開催
	61.	11. 30	消防団長熊谷信治郎氏退任
	61.	12. 1	大和田秀雄氏消防団長に就任
昭和	62.	2. 1	小友町婦人防火クラブ(全戸加入)を結成
	62.	2. 2	高田分団第4部、横田分団第3部消防屯所落成
	62.	3. 30	陸前高田市婦人消防連絡協議会を設立
	62.	4. 1	消防職員1名を採用
	62.	7. 31	消防本部に(社)日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ車を寄贈される
	62.	8. 11	消防本部指揮車更新
	62.	10. 26	小友分団第1部、竹駒分団第2部小型動力ポンプ付積載車更新
	62.	11. 3	前消防団長熊谷信治郎氏勲五等瑞宝章を授与される
	62.	12. 15	米崎分団第2部消防屯所落成
昭和	63.	1. 24	広田町婦人防火クラブを結成
	63.	2. 10	消防本部に歌手千昌夫氏より救急車を寄贈される
	63.	3. 5	広田分団第7部消防屯所落成
	63.	3. 31	消防長村上敬太郎氏退任
	63.	4. 1	林業課長佐々木幹夫氏消防長に就任
	〃		消防職員1名を採用
	63.	5. 18	前副団長吉田恒吉氏勲六等瑞宝章を授与される
	63.	7. 19	救助技術東北大会に出場
	63.	8. 4	広田分団第5部・第7部小型動力ポンプ付積載車更新
	63.	8. 25	気仙分団第2部消防屯所落成
	63.	9. 1	岩手県総合防災訓練が当市で開催される
	63.	11. 14	元小友分団長鈴木敬氏勲六等瑞宝章を授与される
	63.	12. 14	広田分団第5部消防屯所落成
平成	元.	2. 28	気仙分団第4部消防屯所落成
	元.	3. 26	矢作婦人防火クラブを結成
	元.	4. 1	消防職員1名を採用
	元.	8. 29	広田分団第4部、横田分団第3部小型動力ポンプ付積載車更新
	元.	11. 21	消防本部消防ポンプ車更新
	元.	11. 30	矢作分団第3部に積載車(軽)を購入配置
平成	2.	3. 4	小友分団第4部消防屯所を改築
	2.	3. 30	竹駒分団第3部消防屯所落成
	2.	3. 31	消防長佐々木幹夫氏退任
	2.	4. 1	消防次長柴田拓郎氏消防長心得に就任(署長兼務)
	〃		消防職員2名を採用
	2.	7. 18	松原地内津波防災訓練を実施
	2.	8. 28	矢作分団第2部に積載車(軽)を購入配置
	2.	9. 14	財団法人日本防火協会(自治総合センター)より宝くじ号を寄贈される
	2.	10. 7	市制施行35周年記念消防祭を開催

年	月	日	出 来 事
平成	2.	10. 27	小友分団第 4 部消防ポンプ車更新
平成	3.	2. 10	高田分団第 5 部消防屯所落成
	3.	3. 31	消防団長大和田秀雄氏退任
	3.	4. 1	黄川田精也氏消防団長に就任
		〃	消防職員 1 名を採用
	3.	7. 24	救助技術東北大会に出場
	3.	8. 26	消防団本部に日本消防協会より消防団広報車を寄贈される
	3.	9. 19	高田分団第 1 部小型動力ポンプ更新
	3.	10. 29	矢作分団第 1 部に積載車(軽)を購入配置
	3.	12. 2	女性消防団員 3 名入団
		〃	米崎分団第 2 部消防屯所増改築
平成	4.	1. 17	米崎分団第 2 部消防ポンプ車更新
	4.	3. 12	米崎分団第 1 部消防屯所落成
	4.	4. 1	岩手県消防学校教官に消防職員 1 名を派遣
		〃	消防職員 1 名を採用
	4.	5. 14	前消防団長大和田秀雄氏勲六等単光旭日章を授与される
	4.	7. 16	救助技術東北大会に出場
	4.	9. 11	高田分団第 2 部小型動力ポンプ更新
	4.	10. 24	消防団無線局開局(移動局 13 基)
平成	5.	1. 24	竹駒分団第 1 部消防屯所落成
	5.	2. 12	気仙分団第 1 部消防ポンプ車更新
	5.	2. 25	高田分団第 4 部小型動力ポンプ積載車更新
	5.	3. 31	消防長柴田拓郎氏退任
	5.	4. 1	教育委員会給食センター所長佐々木一氏消防長(署長兼務)に就任
		〃	消防職員 1 名を採用
	5.	9. 9	高田分団第 4 部小型動力ポンプ更新
	5.	10. 26	矢作分団第 3 部消防ポンプ車更新
	5.	11. 11	元気仙分団長吉田賢太郎氏勲六等瑞宝章を授与される
平成	6.	1. 28	横田分団第 1 部小型動力ポンプ付積載車更新
	6.	3. 31	消防団長黄川田精也氏退任
	6.	4. 1	熊谷孝夫氏消防団長に就任
		〃	消防職員 2 名を採用
	6.	8. 31	広田分団第 2 部小型動力ポンプ更新
	6.	9. 21	竹駒分団第 1 部小型動力ポンプ付積載車更新
	6.	10. 21	矢作分団第 2 部消防ポンプ車更新
	6.	12. 21	気象情報収集装置更新
平成	7.	3. 8	阪神・淡路大震災による復旧作業へ消防職員 1 名を派遣
	7.	3. 31	消防長佐々木一氏退任
	7.	4. 1	水道事業所長齋藤武夫氏消防長に就任
		〃	消防職員 2 名を採用

年 月 日		出 来 事
平成	7. 5. 11	前消防団長黄川田精也氏勲六等単光旭日章を授与される
	7. 7. 20	救助技術東北大会に出場
	7. 10. 1	市制施行 40 周年記念消防祭を開催
	7. 10. 30	広田分団第 1 部消防ポンプ車更新
	7. 12. 15	小友分団第 3 部、米崎分団第 3 部小型動力ポンプ付積載車更新
平成	8. 2. 9	日本消防協会より竿頭綬を授与される
	8. 3. 19	消防本部救急車更新
	8. 4. 1	消防職員 1 名を採用
	8. 7. 25	救助技術東北大会に出場
	8. 9. 11	広田分団第 6 部、小友分団第 1 部小型動力ポンプ更新
平成	8. 10. 14	矢作分団第 1 部消防ポンプ車更新
	8. 11. 14	高田分団第 2 部・第 5 部小型動力ポンプ積載車更新
	9. 3. 31	消防団長熊谷孝夫氏退任
	9. 4. 1	吉田貞雅氏消防団長に就任
	〃	消防職員 2 名を採用
平成	9. 7. 17	救助技術東北大会に出場
	9. 8. 22	救助技術全国大会に出場
	9. 11. 7	米崎分団第 1 部消防ポンプ車更新
	9. 11. 28	気仙分団第 2 部・第 4 部小型動力ポンプ付積載車更新
	10. 3. 31	津波観測装置完成
平成	10. 7. 23	救助技術東北大会に出場
	10. 12. 10	広田分団第 3 部小型動力ポンプ付積載車、広田分団第 4 部小型動力ポンプ更新
	10. 12. 15	消防本部に高規格救急車を購入配置、救急救命士の運用を開始
	11. 3. 31	消防長齋藤武夫氏退任
	〃	消防団長吉田貞雅氏退任
平成	11. 4. 1	下水道課長村上昭八郎氏消防長に就任
	〃	丹野紀雄氏消防団長に就任
	11. 4. 1	消防職員 2 名を採用
	〃	防災航空隊へ消防職員 1 名を派遣(任期は 3 年)
	11. 10. 25	広田分団第 5 部、小友分団第 2 部小型動力ポンプ更新
平成	12. 1. 20	高田分団第 6 部、広田分団第 6 部小型動力ポンプ積載車更新
	12. 7. 13	救助技術東北大会に出場
	12. 9. 11	高田分団第 6 部、矢作分団第 1 部小型動力ポンプ更新
	12. 10. 24	市制施行 45 周年記念消防祭を開催
	12. 10. 27	高田分団第 3 部、気仙分団第 3 部消防ポンプ車更新
平成	12. 11. 13	消防本部に(社)日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ車を寄贈される
	13. 4. 1	消防職員 1 名を採用
	13. 7. 30	竹駒分団第 2 部、矢作分団第 2 部・第 3 部小型動力ポンプ更新
	13. 8. 17	高田分団第 1 部小型動力ポンプ積載車更新
	13. 8. 23	消防本部指揮車更新

年 月 日	出 来 事
平成 13. 9. 1	岩手県総合防災訓練が当市で開催される
14. 7. 18	救助技術東北大会に出場
14. 10. 2	横田分団第 1 部・第 3 部小型動力ポンプ更新
平成 14. 12. 25	小友分団第 2 部小型動力ポンプ積載車更新
15. 3. 25	高田分団第 2 部消防屯所移転新築
15. 3. 31	消防長村上昭八郎氏退任
〃	消防団長丹野紀雄氏退任
15. 4. 1	税務課長戸羽茂夫氏消防長に就任
〃	石川秀一氏消防団長に就任
平成 〃	消防職員 1 名を採用
15. 9. 24	竹駒分団 3 部、横田分団第 2 部消防ポンプ車更新
15. 11. 6	元副団長川原寛氏瑞宝単光章を授与される
16. 2. 26	気仙分団第 3 部消防屯所落成
16. 4. 1	消防職員 1 名を採用
平成 〃	防災航空隊へ消防職員 1 名を派遣(任期は 3 年)
16. 11. 13	岩手県火災予防フェスティバルが当市で開催される
16. 12. 3	広田分団第 2 部小型動力ポンプ積載車、広田分団第 7 部小型動力ポンプ付積載車更新
平成 17. 2. 25	消防本部に高規格救急車購入配置
17. 3. 31	消防長戸羽茂夫氏退任
17. 4. 1	まちづくり推進課長金野実氏消防長に就任
17. 9. 16	小友分団第 1 部、竹駒分団第 2 部小型動力ポンプ積載車更新
17. 10. 2	消防団結成 50 周年記念消防祭を開催
17. 11. 9	元副団長菅野金五郎氏瑞宝双光章を授与される
17. 12. 20	広田分団第 1 部消防屯所落成
18. 3. 3	消防庁長官より消防本部・消防団に表彰旗を授与される
平成 19. 3. 16	岩手県知事より消防団に優良竿頭綬を授与される
19. 3. 31	消防長金野実氏退任
19. 4. 1	水産課長村上直光氏消防長に就任
〃	消防職員 1 名を採用
19. 7. 26	高田分団第 5 部小型動力ポンプ更新
19. 11. 6	消防本部消防ポンプ車更新
平成 20. 3. 19	岩手県知事より消防団に特別優良表彰旗を授与される
20. 4. 1	消防職員 1 名を採用
20. 6. 14	岩手宮城内陸地震発生
〃	県内消防相互応援に関する協定に基づき、消防職員 7 名派遣
20. 7. 24	広田分団第 5 部小型動力ポンプ積載車更新
20. 8. 8	高田分団第 1 部小型動力ポンプ更新
20. 11. 17	営農センターよりトラックを譲り受け、緊急車両に艤装し消防本部に支援車配置
平成 21. 1. 28	高田分団第 2 部、気仙分団第 2 部小型動力ポンプ更新

年	月	日	出 来 事
平成	21.	2. 10	小友分団第 2 部消防屯所落成
	21.	3. 31	消防長村上直光氏退任
		〃	消防団長石川秀一氏退任
	21.	4. 1	財政課長白川光一氏消防長に就任
		〃	佐藤勝氏消防団長に就任
		〃	消防職員 1 名を採用
		〃	防災航空隊へ消防職員 1 名を派遣(任期は 3 年間)
	21.	8. 31	消防本部消防ポンプ車購入配置
	21.	10. 20	横田分団第 3 部小型動力ポンプ積載車更新
	21.	11. 11	元小友分団長黄川田光男氏瑞宝単光章を授与される
平成	21.	12. 7	小友分団第 4 部消防ポンプ車更新
	22.	2. 28	チリ地震津波来襲
	22.	3. 31	消防長白川光一氏市役所に出向
	22.	4. 1	消防次長岩崎亮氏消防長に就任
		〃	消防職員 1 名を採用
	22.	7. 23	第 37 回岩手県消防操法競技会ポンプ車の部において横田分団第 2 部優勝
	22.	9. 30	広田分団第 4 部小型動力ポンプ積載車、米崎分団第 2 部消防ポンプ車、矢作分団第 3 部積載車(軽)更新
		〃	総務省消防庁より消防団救助資機材搭載型車両を貸与される
		〃	消防団本部に消防団指揮車を購入配置
	22.	11. 14	消防団結成 55 周年記念消防祭を開催
平成	23.	3. 11	東日本大震災発生
		〃	大津波により消防職員 1 名、消防団員 34 名殉職
		〃	消防庁舎、消防屯所 16 カ所被災
		〃	消防車両 14 台被災
	23.	3. 23	仮消防庁舎を陸前高田市学校給食センター内に設置
	23.	4. 1	消防職員 1 名を採用
	23.	4. 29	元米崎分団長吉田長七氏瑞宝単光章を授与される
	23.	7. 25	米崎分団、矢作分団が東日本大震災に伴う捜索活動に対し岩手県警察から感謝状を授与される
	23.	10. 23	東日本大震災に伴う消防慰霊祭を挙げる
	23.	11. 8	元消防団長丹野紀雄氏瑞宝単光章を授与される
平成	23.	11. 9	東日本大震災の功労に対し、総務大臣より消防本部・消防団に表彰状を授与される
	23.	12. 31	消防団長佐藤勝氏退任
	24.	1. 1	大坂淳氏消防団長に就任
	24.	1. 18	消防本部に名古屋市より高規格救急車を寄贈され配置
	24.	2. 21	消防団に(社)日本損害保険協会より小型動力ポンプ付軽積載車を寄贈され、矢作分団第 2 部に配置
	24.	2. 23	日本消防協会より消防団に竿頭綬を授与される

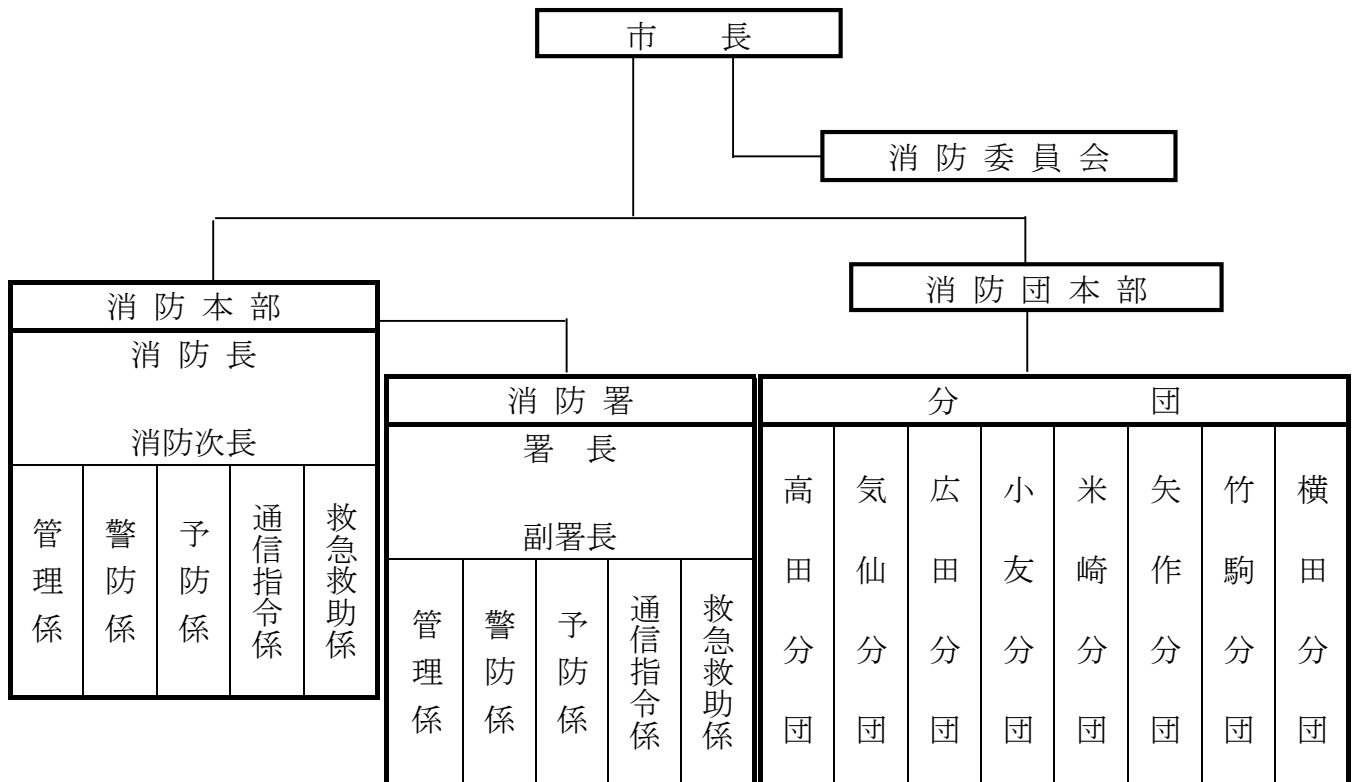


年 月 日	出 来 事
平成 24. 3. 4	東日本大震災により流失した消防団旗、分団旗、部旗を新たに購入配置
24. 3. 14	東日本大震災の功勞に対し、岩手県知事より消防団に功勞竿頭綬が授与される
24. 4. 1	消防職員 2 名を採用
24. 6. 1	元副団長熊谷嘉一氏瑞宝単光章を授与される
24. 7. 25	消防団に配備したデジタル簡易登録無線局運用開始
24. 9. 1	東日本大震災の功勞に対し、内閣総理大臣より消防本部・消防団に表彰状が授与される
24. 9. 28	消防団本部に総務省消防庁より消防団救助資器材搭載型車両を新たに貸与され配置
24. 11. 3	元竹駒分団副分団長菅野忠孝氏瑞宝単光章を授与される
平成 25. 3. 13	消防団本部に財団法人岩手県消防協会、株式会社パトライト社から軽広報連絡車を寄贈され配置
25. 3. 27	高田分団第 4 部、矢作分団第 1 部に JA 共済より小型動力ポンプ付積載車、小型動力ポンプ付軽積載車をそれぞれ寄贈され配置
〃	消防本部に JA 共済より指揮車を寄贈され配置
25. 3. 28	東日本大震災により被災した高田分団第 1 部、広田分団第 2 部、米崎分団第 3 部に小型ポンプ付積載車を配置
〃	東日本大震災により被災した広田分団第 1 部、竹駒分団第 3 部に消防ポンプ車を配置
25. 3. 31	消防長岩崎亮氏退任
〃	消防本部に指揮車(無線中継車)を購入し配置
25. 4. 1	前消防長岩崎亮氏再任用により消防長に就任
〃	消防職員 1 名を採用
〃	岩手県防災航空隊へ消防職員 1 名を派遣(任期は 1 年間)
25. 4. 29	元副署長小松三生氏、元消防次長兼消防署長志田信一氏瑞宝単光章を授与される
25. 11. 3	元高田分団副分団長熊谷巖氏瑞宝単光章を授与される
25. 11. 10	東日本大震災により被災した高田分団第 2 部、第 5 部、気仙分団第 2 部に小型動力ポンプ付積載車を配置
〃	東日本大震災により被災した高田分団第 3 部、気仙分団第 1 部に消防ポンプ車を配置
平成 26. 1. 21	消防団長大坂淳氏逝去
26. 3. 1	渡邊克己氏消防団長に就任
26. 3. 31	消防長岩崎亮氏退任
26. 4. 1	健康推進課長佐々木誠氏消防長に就任
〃	消防本部に通信指令係を新設する
〃	消防職員 1 名を採用
26. 5. 27	東日本大震災により被災した広田分団第 1 部消防屯所及び竹駒分団第 3 部消防屯所落成
26. 6. 9	消防救急デジタル無線運用開始
〃	消防本部指揮車を無線中継車として運用開始

年	月	日	出 来 事
平成	26.	8. 27	救助技術全国大会に出場(「平成 26 年 8 月豪雨」による災害のため大会中止)
	26.	9. 7	米崎分団第 1 部の消防ポンプ自動車、竹駒分団第 1 部の小型動力ポンプ付積載車更新
	26.	10. 23	消防本部の高規格救急車更新
	26.	10. 31	陸前高田市消防防災センター落成
	26.	11. 21	消防本部の水槽付消防ポンプ自動車更新
	26.	12. 16	陸前高田市消防防災センターにおいて業務開始
		〃	高機能消防指令センター運用開始
平成	27.	3. 13	岩手県知事より消防団に特別優良竿頭綬が授与される
	27.	4. 1	消防職員 1 名を採用
	27.	4. 29	元消防団長吉田貞雅氏瑞宝単光章を授与される
	27.	5. 8	東日本大震災により被災した小友分団第 1 部消防屯所及び米崎分団第 2 部消防屯所落成
	27.	10. 21	矢作分団第 3 部の消防ポンプ車更新
		〃	横田分団第 1 部の小型動力ポンプ付積載車更新
	27.	11. 3	元気仙分団長菅野利夫氏瑞宝単光賞を授与される
			岩手県消防協会より消防団に表彰状を授与される
平成	28.	2. 26	東日本大震災により被災した気仙分団第 3 部消防屯所落成
	28.	4. 1	岩手県防災航空隊へ職員 1 名を派遣(任期は 3 年間)
		〃	消防職員 1 名を任命
	28.	4. 28	東日本大震災により被災した米崎分団第 1 部消防屯所落成
		〃	広田分団第 5 部消防屯所落成
	28.	6. 2	(株)オノデラサインから軽広報連絡車を寄贈され配置
	28.	11. 14	東日本大震災により被災した高田分団の消防屯所落成
	28.	12. 8	消防本部の高規格救急車更新
平成	29.	2. 3	東日本大震災により被災した広田分団第 2 部消防屯所落成
	29.	3. 31	消防長佐々木誠氏退任
		〃	消防団長渡邊克己氏退任
	29.	4. 1	農林水産部水産課長平立身氏消防長に就任
		〃	河野吉昭氏消防団長に就任
		〃	消防職員 2 名を採用
	29.	7. 19	救助技術東北大会に出場
	29.	11. 17	東日本大震災により被災した小友分団第 4 部消防屯所落成
	29.	12. 3	広田分団第 3 部の小型動力ポンプ付積載車更新
	29.	12. 13	矢作分団第 1 部の消防ポンプ車更新
平成	30.	3. 1	消防本部の水槽付消防ポンプ自動車更新
	30.	4. 29	元消防次長兼消防署長佐々木洋氏瑞宝単光章を授与される
	30.	10. 11	東日本大震災により被災した高田分団消防屯所落成
	30.	12. 25	高田分団第 6 部の小型動力ポンプ付積載車更新
		〃	広田分団第 6 部の小型動力ポンプ付積載車更新

年 月 日		出 来 事
平成	31. 3. 4	広田分団第 4 部消防屯所落成
	31. 3. 13	東日本大震災により被災した高田分団消防屯所落成
	31. 3. 28	東日本大震災により被災した高田分団消防屯所落成
	31. 3. 31	消防長平立身氏退任
	31. 4. 1	防災局長堺伸也氏消防長に就任
	〃	消防職員 1 名を採用
	〃	消防本部に救急救助係を新設する
	〃	消防署に救急救助係及び通信指令係を新設する
	31. 4. 25	東日本大震災により被災した気仙分団第 2 部消防屯所落成
令和	元. 5. 21	元消防本部予防係長兼消防署副署長菅野悦男氏瑞宝単光章を授与される
	元. 6. 26	東日本大震災により被災した高田分団消防屯所落成
	元. 10. 31	消防長堺伸也氏市役所に出向
	元. 11. 1	消防次長戸羽進氏消防長に就任
	元. 12. 21	気仙分団第 3 部の消防ポンプ車更新
	元. 12. 22	小友分団第 2 部の小型動力ポンプ付積載車更新
令和	2. 3. 3	東日本大震災により被災した気仙分団第 1 部消防屯所落成
	2. 12. 25	横田分団第 2 部の消防ポンプ車更新
令和	3. 3. 19	広田分団第 7 部の小型動力ポンプ付積載車更新
	3. 3. 31	消防団長河野吉昭氏退任
	3. 4. 1	大坂司氏消防団長に就任
	〃	消防職員 2 名を採用
	3. 4. 29	元消防団長石川秀一氏瑞宝単光章を授与される
令和	4. 3. 4	小友分団第 1 部の小型動力ポンプ付積載車更新
	〃	竹駒分団第 2 部の小型動力ポンプ付積載車更新
	4. 4. 1	消防職員 1 名を採用
	〃	岩手県防災航空隊へ職員 1 名を派遣(任期は 3 年間)
	4. 7. 27	救助技術東北大会に出場
令和	5. 2. 23	消防本部の高規格救急車更新
	5. 3. 3	竹駒分団第 2 部消防屯所落成
	5. 3. 31	消防長戸羽進氏退任
	5. 4. 1	地域振興部水産課長菅野泰浩氏消防長に就任
	〃	いわて消防指令事務協議会へ職員 1 名を派遣
	〃	消防職員 1 名を採用
	5. 7. 26	救助技術東北大会に出場
	5. 10. 13	消防本部の消防ポンプ自動車更新
令和	6. 4. 1	消防職員 1 名を採用
令和	7. 2. 5	消防本部の水槽付消防ポンプ自動車更新
	7. 3. 19	広田分団第 6 部消防屯所落成
	7. 4. 1	消防長菅野泰浩氏市役所に出向 消防次長及川貴美人氏消防長に就任 消防職員 1 名を採用

# 陸前高田市消防の組織



陸 前 高 田 市  
市 長  
副 市 長

佐々木 拓  
石 渡 史 浩

消防長及び消防署長

消 防 長

消 防 署 長

消 防 委 員

消防関係者

〃

〃

〃

〃

〃

学識経験者

〃

〃

及 川 貴美人  
岡 田 雅 彦

渡 邊 克 己  
阿 部 昭 男  
遠 野 善 喜  
村 上 勝 彦  
中 山 一 彦  
大 坂 一 司  
村 上 雅 司  
佐 藤 隆 広  
實 吉 賢 雄

## 消防本部の事務分掌

係	分 掌 事 務
管 理 係	1 消防職員の人事及び組織に関すること。 2 公印の管理に関すること。 3 文書の収発及び管理に関すること。 4 予算及び経理に関すること。 5 職員の給与、勤務時間その他勤務条件に関すること。 6 消防関係条例等の立案に関すること。 7 物品の調達及び管理に関すること。 8 消防用施設の管理に関すること。 9 広報統計に関すること。 10 職員の研修及び福利厚生に関すること。 11 消防表彰に関すること。 12 消防委員会に関すること。 13 消防職員委員会に関すること。 14 消防本部内の他係に属さないこと。
警 防 係	1 水火災防御及び警戒に関すること。 2 消防水利に関すること。 3 消防職団員の教養訓練に関すること。 4 消防の相互の応援に関すること。 5 消防団の人事及び組織に関すること。 6 消防団員の公務補償に関すること。 7 消防協会に関すること。
予 防 係	1 火災予防に関すること。 2 陸前高田市火災予防条例に関すること。 3 危険物に関すること。 4 防火管理に関すること。 5 火災の原因、損害等の調査に関すること。 6 建築物の確認同意に関すること。 7 幼少年婦人防火クラブ等の育成指導に関すること。
通 信 指 令 係	1 災害通報の受信及び出動指令に関すること。 2 消防通信の統制及び運用に関すること。 3 関係機関等への災害通報及び連絡に関すること。 4 災害情報の収集及び伝達に関すること。 5 消防計画及び部隊の運用に関すること。 6 消防通信施設の維持管理に関すること。 7 火災警報及び気象情報に関すること。
救 急 救 助 係	1 救急、救助の運用に関すること。 2 救急、救助統計に関すること。 3 救急医療機関、その他関係機関との連絡調整に関すること。 4 救急、救助技術の教養訓練に関すること。 5 応急手当の普及啓発に関すること。 6 緊急消防援助隊に関すること。

## 消防署の事務分掌

係	分 掌 事 務
管 理 係	1 署内の事務の総合調整に関する事。 2 公印の管理に関する事。 3 文書の収発及び管理に関する事。 4 職員の研修及び福利厚生に関する事。 5 予算及び経理に関する事。 6 物品の出納及び保管に関する事。 7 消防署内の他係に属さない事。
警 防 係	1 水火災の防御及び警戒に関する事。 2 消防水利に関する事。 3 消防戦術及び部隊の出動並びに指揮統制に関する事。 4 消防職団員の教養訓練に関する事。 5 消防機械器具の点検整備及び修理に関する事。 6 消防団に関する事。
予 防 係	1 火災予防に関する事。 2 火災予防条例に関する事。 3 危険物に関する事。 4 火災の原因調査に関する事。 5 建築物の確認同意に関する事。 6 防火管理に関する事。 7 幼少年婦人防火クラブ等に関する事。
通 信 指 令 係	1 災害通報の受信及び出動指令に関する事。 2 消防通信の統制及び運用に関する事。 3 関係機関等への災害通報及び連絡に関する事。 4 災害情報の収集及び伝達に関する事。 5 消防計画及び部隊の運用に関する事。 6 消防通信施設の維持管理に関する事。 7 火災警報及び気象情報に関する事。
救 急 救 助 係	1 救急業務に関する事。 2 応急手当の普及及び指導に関する事。 3 救助業務に関する事。 4 救急救助資機材の点検整備及び修理に関する事。 5 救急及び救助技術の教養訓練に関する事。 6 緊急消防援助隊等に関する事。

## 5年間の一般会計及び消防費決算額

(単位：千円)

	一般会計決算額	消防費決算額	比 率
令和2年度	64,207,684	399,062	0.62%
令和3年度	26,452,267	407,195	1.53%
令和4年度	24,371,639	473,767	1.94%
令和5年度	17,741,501	424,934	2.39%
令和6年度	16,979,375	681,738	4.02%

## 5年間の消防費決算額構成比

(単位：千円)

	消防費総額	常備消防費	非常備消防費	消防施設費	水防費
令和2年度	399,062	272,685	66,100	59,586	691
		68.33%	16.57%	14.93%	0.17%
令和3年度	407,195	283,878	56,274	66,041	1,002
		69.72%	13.82%	16.22%	0.24%
令和4年度	473,767	288,680	61,187	122,577	1,323
		60.93%	12.92%	25.87%	0.28%
令和5年度	424,934	287,214	58,467	78,380	873
		67.60%	13.75%	18.45%	0.20%
令和6年度	681,738	306,053	66,255	308,807	623
		44.89%	9.72%	45.30%	0.09%

## 消防職員の配置状況

(令和7年4月1日現在)

	合 計	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士
消 防 本 部	8(3)	1	3(3)	4			
消 防 署	29			11	4	6	8
合 計	37(3)	1	3(3)	15	4	6	8

※ ( ) 内は署兼務

## 消防職員の階級別勤続年数

(令和7年4月1日現在)

	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	合 計
5 年 未 満						6	6
5 ～ 9 年					1	2	3
10 ～ 14 年				1	4		5
15 ～ 19 年				3	1		4
20 ～ 24 年			3				3
25 ～ 29 年			4				4
30 年 以 上	1	3	8				12
合 計	1	3	15	4	6	8	37

## 消防職員の階級別年齢状況

(令和7年4月1日現在)

	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	合 計
20 歳 未 満							
20 ～ 24 歳						7	7
25 ～ 29 歳					1	1	2
30 ～ 34 歳					3		3
35 ～ 39 歳				3	2		5
40 ～ 44 歳			2	1			3
45 ～ 49 歳			7				7
50 ～ 54 歳			5				5
55 歳 以 上	1	3	1				5
合 計	1	3	15	4	6	8	37



## 消防施設の現有状況

(令和 7 年 4 月 1 日現在)

消 防 署	消防ポンプ自動車		消防特殊車両				救急車	その他
	ポ 水 ン 槽 付 プ 消 車 防	消 防 ポ ン プ 車	指 揮 車	支 援 車	積 載 車	無 線 中 継 車	高 規 格 救 急 車	連 絡 車
1	3	1	1	1	1	1	3	2

## 消防車両の現有状況（消防本部・消防署）

(令和 7 年 4 月 1 日現在)

車 両 名	車 名	型 式	製 作 所	配備年	備 考
水槽付消防ポンプ車 【高田タンク 1】	日野レンジャー	SDG-GX7JGAA 改	株式会社 モリタ	平成 26 年	
水槽付消防ポンプ車 【高田救助 1】	日野レンジャー	2KG-GX2ABA	長野ポンプ 株式会社	令和 7 年	緊急消防援助隊 消火隊登録車両
水槽付消防ポンプ車 【高田救助 2】	日野レンジャー	SDG-GX7JGAA 改	長野ポンプ 株式会社	平成 30 年	
消防ポンプ車 【高田ポンプ 1】	日野デュトロ	2KG-XZU685M	長野ポンプ 株式会社	令和 5 年	
救急車 【高田救急 1】	トヨタ ハイメディック	CBF-TRH226S	トヨタテクノ クラフト 株式会社	平成 26 年	

車 両 名	車 名	型 式	製 作 所	配備年	備 考
救急車 【高田救急 2】	トヨタ ハイメディック	3BF-TRH226S	トヨタテクノ クラフト 株式会社	令和 5 年	緊急消防援助隊 救急隊登録車両
救急車 【高田救急 3】	トヨタ ハイメディック	CBF-TRH226S	トヨタテクノ クラフト 株式会社	平成 28 年	
消防署指揮車 【高田指揮 1】	トヨタ ハイメディック	CBF-TRH226S	株式会社 野口自動車	平成 25 年	JA 共済連 より寄贈
無線中継車 【高田中継 1】	トヨタ ヴァンガード	DBA-ACA33W	有限会社 水沢ボデー	平成 25 年	
支援車 【高田支援 1】	三菱 キャンター	SKG-FEB50		平成 25 年	日本財団 より寄贈
積載車 【高田積載 1】	三菱 キャンター	SKG-FBA20		平成 25 年	日本財団 より寄贈
連絡車 【高田連絡 1】	マツダ ファミリア	DBF-BVZNY12		平成 23 年	名古屋市 より寄贈
連絡車 【軽広報連絡車】	ホンダ バモス	ABA-HM4		平成 28 年	(株)オノデ ラサイン より寄贈

# 消防職員技能資格取得状況

(令和7年4月1日現在)

免許等の区分		階級別	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士
運転 免許 関係	大 型	型			14	4	3	
	大 型 特 殊	殊			5			
	中 型	型					3	5
	中 型 ( 8 t 限 定 )		1	3	1			
	普 通	通						2
	自 動 二 輪 ( 大 型 )				1			1
	自 動 二 輪 ( 普 通 )			1	4		2	
無線	第 2 級 陸 上 特 殊 無 線 技 士 免 許			3	8			
	第 3 級 陸 上 特 殊 無 線 技 士 免 許				7	4	6	7
救急 救助 関係	救 急 救 命 士		1	2	13	3	5	3
	指 導 救 命 士				1			
	認 定 救 急 救 命 士 ( 気 管 挿 管 )		1	2	13	3	4	2
	認 定 救 急 救 命 士 ( 薬 剤 投 与 )		1	1	13	3	5	3
	認 定 救 急 救 命 士 ( 拡 大 2 項 目 )				12	3	5	3
	認 定 救 急 救 命 士 ( ビ デ オ 喉 頭 鏡 )				12	3	4	2
	玉 掛 作 業 主 任 者				8	2		
	小 型 移 動 式 ク レ ー ン 運 転				10	2	1	
	潜 水 士				3		2	
	小 型 船 舶 操 縦 士 ( 1 級 )				1			
	小 型 船 舶 操 縦 士 ( 2 級 )			1	5	3	2	2
	特 定 化 学 物 質 等 作 業 主 任 者				2	1	1	
	特 定 化 学 物 質 及 び 四 ア ル キ ル 鉛 等 等 作 業 主 任 者				1	1	1	
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 管 理 者				1			
	酸 素 欠 乏 ・ 硫 化 水 素 危 険 作 業 主 任 者				2			
予 防 関 係	着 衣 泳 指 導 員					1	2	
	予 防 技 術 員 ( 防 火 査 察 )			2	7	3	2	1
	予 防 技 術 員 ( 消 防 用 設 備 等 )			1	2	1		
	予 防 技 術 員 ( 危 険 物 )			1	3	1		
	危 険 物 取 扱 者 免 許 ( 甲 種 )					1		
	危 険 物 取 扱 者 免 許 ( 乙 4 )		1	2	10	2	2	2
そ の 他	消 防 設 備 士 免 許 ( 6 類 )		1		1			
	第 2 種 電 気 工 事 士				1			
	フ ォ ー ク リ フ ト				2			
	B L S				1	1	1	
	J P T E C				2	2	4	4
	M C L S				8	1	3	
	無 人 航 空 機 基 礎 技 能 習 得 者				2			1
	テ ク ニ カ ル ロ ー プ レ ス キ ュ ー				2	4	6	1
	ス イ フ ト ウ ォ ー タ ー レ ス キ ュ ー				2	1	2	

# 警 防 編

## 消防水利施設状況

(令和 7 年 4 月 1 日現在)

町名 水利種別			高田町	気仙町	広田町	小友町	米崎町	矢作町	竹駒町	横田町	合計
消火栓	公設	地上	102	74	97	67	56	57	50	52	555
		地下									
	私設	地上			1		1				2
		地下					1				1
	小計		102	74	98	67	58	57	50	52	558
防火水槽	公設	40t 未満		2	14	13	7	5	12	15	68
		40t 以上	32	31	53	25	19	20	8	16	204
	私設	40t 以上	1		1		4		2		8
	小計		33	33	68	38	30	25	22	31	280
その他	海、河川接岸箇所										
	池、沼、その他										
	小計										
合計			135	107	166	105	88	82	72	83	838

# 救 助 統 計 編

## 月別救助活動状況

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
出動 件数			1			1	2	3	1	1		3	12
活動 件数			1				2	3	1			3	10

## 事故種別救助活動状況

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

	火 災	交 通	水 難	自然 災害	風水 害等	機械 による 事故	建物 等に よる 事故	ガス 及び 酸欠 事故	破裂 事故	その他 の事故	合計
出動 件数		9				2				1	12
活動 件数		7				2				1	10

# 救 急 統 計 編



## 救 急 活 動 状 況

(令和 6 年 1 月 1 日～令和 6 年 12 月 31 日)

種別 区分	火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院 搬 送	そ の 他	合 計
出 動 件 数			2	39	5	2	146	1	8	756	53		1012
搬 送 件 数			2	38	5	2	145	1	6	728	53		980
不搬送件数				1			1		2	28			32
搬 送 人 員			2	48	5	2	145	1	6	728	53		990

## 曜 日 別 救 急 活 動 状 況

(令和 6 年 1 月 1 日～令和 6 年 12 月 31 日)

種別 曜日	火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院 搬 送	そ の 他	合 計
月				11	1		11	1	1	120	4		149
火				6			20		3	116	13		158
水			1		1		18		1	103	3		127
木				4			29		1	106	17		157
金				4	3		23			96	10		136
土				8		1	23			106	6		144
日			1	6		1	22		2	109			141
合 計			2	39	5	2	146	1	8	756	53		1012

## 月別救急活動状況

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

種別 月	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	転院 搬送	そ の 他	合 計
1			1				12		1	65	5		84
2							10			68	5		83
3				3	1	1	14	1		60	6		86
4				5			9			61	2		77
5				1			9		2	53	3		68
6				3		1	11		1	54	6		76
7				6	1		12		3	73	8		103
8				7	1		19			61	2		90
9				2			14			63	3		82
10			1	6			10			58	3		78
11				3	2		12			59	4		80
12				3			14		1	81	6		105
合 計			2	39	5	2	146	1	8	756	53		1012

## 日別救急活動状況

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

種別 日	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	転院 搬送	そ の 他	合 計
1				1			3			25	1		30
2				2			3			26	2		33
3				3	1	1	3			21	1		30
4							6		1	33	1		41
5				2			5			18	1		26
6				2			4			22	1		29
7							6		1	25	1		33
8					1		9			15			25
9							11			23	1		35
10				1			10		1	27	2		41
11				1			3			35	1		40
12							4		1	28	4		37
13			1				7		1	31			40
14							7			21	1		29
15				4	1		2			19	2		28
16				1			6			19	2		28
17							5			20	2		27
18				1	1		1	1		26	3		33
19				2			3			30	5		40
20							5			22	3		30
21				6			2			31	2		41
22				4			9			34	3		50
23					1		3		1	26	3		34
24				1			6			20	1		28
25							4			21	3		28
26				2			3		1	25			31
27				1			1			30	1		33
28				1			5			24	3		33
29				1		1	3			22	1		28
30				3			2		1	21	1		28
31			1				5			16	1		23
合 計			2	39	5	2	146	1	8	756	53		1012

## 時間別救急活動状況

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

種別 時間	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	転 院 搬 送	そ の 他	合 計
0～2 時							3		1	31			35
2～4 時							4			22			26
4～6 時							3		1	26			30
6～8 時			1	1	2		10		1	74	1		90
8～10 時				6			12			105	8		131
10～12 時				5			14		1	87	19		126
12～14 時				13	1	1	28	1	2	86	12		144
14～16 時				3	1	1	26		2	80	9		122
16～18 時				9	1		15			74	4		103
18～20 時			1	1			16			75			93
20～22 時				1			8			57			66
22～24 時							7			39			46
合 計			2	39	5	2	146	1	8	756	53		1012

## 町別救急活動状況

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

種別 町	火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院 搬 送	そ の 他	合 計
高 田 町				7	1	2	41		2	276	47		376
気 仙 町			1	5	1		15		1	66	2		91
広 田 町			1	1			14		3	91	3		113
小 友 町				7			14			76	1		98
米 崎 町				5	2		27		1	84			119
矢 作 町				4			18			63			85
竹 駒 町				6	1		11		1	52			71
横 田 町				4			6	1		48			59
そ の 他													
合 計			2	39	5	2	146	1	8	756	53		1012

## 年齢区分別・傷病程度別搬送人員状況

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

種別 区分	火 災	自然災害	水 難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	転院搬送	そ の 他	合 計
新 生 児 (～28 日)													
乳 幼 児 (29 日～6 歳)				1			2			15			18
少 年 (7 歳～17 歳)				3			3		1	10			17
成 人 (18 歳～64 歳)			2	24	3	2	22		4	131	10		198
老 人 (65 歳～)				20	2		118	1	1	572	43		757
合 計			2	48	5	2	145	1	6	728	53		990
死 亡							1		2	24			27
重 症			1	4			20		2	69	10		106
中 等 症			1	12	4		42			259	30		348
軽 症				31	1	2	82	1	2	376	13		508
そ の 他				1									1
合 計			2	48	5	2	145	1	6	728	53		990

# 事故種別・医療機関別搬送人員

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

告示別	事故種別等 開設者	急 病		交 通 事 故		一 般 負 傷		そ の 他		合 計	
			うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外
救急告示医療機関	国 立										
	公 立	678	678	46	46	141	141	67	67	932	932
	公 的 病 院										
	私 的 病 院			1	1			1	1	2	2
	私 的 診 療 所										
その他の医療機関	国 立										
	公 立	50				4				54	
	公 的 病 院										
	私 的 病 院							1		1	
	私 的 診 療 所										
その他の場所	接 骨 院 等										
	そ の 他			1	1					1	1
合 計		728	678	48	48	145	141	69	68	990	935

## 覚知別救急活動状況

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

種別 区分	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院 搬 送	そ の 他	合 計
専 用 電 話			1	16	4		70	1	4	426	48		570
一般加入電話			1	6			13		3	53	4		80
携 帯 電 話				15	1	2	58		1	263			340
駆 け 付 け							3			13			16
警 察													
公 衆 電 話													
消 防 無 線				1									1
自 己 覚 知													
緊急システム							2						2
緊 急 F A X													
そ の 他				1						1	1		3
合 計			2	39	5	2	146	1	8	756	53		1012



## 月別出動隊別救急活動状況

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

	救命士搭乗隊	その他の隊	合計
1月	84		84
2月	83		83
3月	86		86
4月	77		77
5月	68		68
6月	75	1	76
7月	103		103
8月	90		90
9月	82		82
10月	78		78
11月	80		80
12月	105		105
合計	1011	1	1012

## 救急救命士による特定行為実施状況

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

除細動	器具を用いた 気道確保	気管挿管	薬剤投与	心肺停止後の 静脈路確保	心肺停止前の 静脈路確保	血糖測定	ブドウ糖投与	合計
6	14	2	15	16	8	35	1	97

※ 器具を用いた気道確保は、食道閉鎖式エアウェイを使用

※ 救急救命士 18名

※ 特定行為指示病院

県立高田病院

県立大船渡病院

# 救急活動の推移（昭和 45 年～令和 6 年）

種別 年	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	転 院 搬 送	そ の 他	合 計
昭 45				30	5	3	8		1	17		7	71
46				38	5	1	2		4	21		14	85
47			5	59	10	7	9	2	3	37		4	136
48				71	10	5	9		3	78		10	186
49	1		2	44	14	7	18		5	109	1	5	206
50	1		3	55	18	7	17	2	5	110	13	11	242
51				62	12	10	23	2	1	116	19	6	251
52		3	4	60	12	14	30	1	4	165	20	11	324
53	1			75	10	9	40	1	3	171	36	2	348
54			1	61	14	10	35	1	1	193	30	8	354
55		2	2	63	12	7	41	4	3	160	29	5	328
56		1	1	60	13	6	37	3	3	178	41	1	344
57			3	70	5	11	35	2	1	177	45	6	355
58	2		3	61	8	5	43	6	7	177	32	1	345
59			3	57	7	2	54	1	3	190	40		357
60				65	4	5	41	1	5	178	55	2	356
61	1		1	81	4	9	36	2	5	161	56	1	357
62	1		1	57	3	3	44	1	3	193	44	3	353
63			1	60	4	6	47	3	2	233	57	5	418
平元				68	9	8	47	1	5	226	54	4	422
2			1	70	6	11	60	1	4	280	70	1	504
3	5		3	71	7	2	53	4	5	242	62	1	455
4				78	2	5	48	1	5	271	77	2	489

種別 年	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	転 院 搬 送	そ の 他	合 計
5				57	6	5	41	3	6	274	85		477
6				68	4	8	51	2	5	314	77	1	530
7			2	58	4	10	68	5	1	331	91	4	574
8	2		2	88	5	5	62	1	7	342	105	2	621
9			1	60	3	5	58	1	3	357	118	2	608
10				61	9	7	74	3	1	407	134		696
11			1	56	6	6	75	1	12	433	156		746
12			1	74	3	6	73		13	430	141	1	742
13	1			86	10	10	66	3	4	423	118		721
14	1		1	69	7	7	90	1	6	463	134	2	781
15	1		2	61	11	6	96	1	14	529	88	4	813
16	1		1	69	6	3	91	4	9	533	95		812
17			1	57	6	7	94	3	6	582	100	2	858
18	2			59	6	10	68	3	7	594	104	2	855
19	1			59	9	5	71	2	7	573	89	4	820
20	1			53	11	3	83	1	13	504	77	3	749
21				38	6	5	83	2	14	542	64	5	759
22													
23				42	6	1	71	1	6	489	65		681
24			1	71	7		88		8	493	71	2	741
25			2	61	13		80	2	4	531	78	2	773
26				53	15		75	2	9	557	74	3	788
27			1	40	18	4	125	1	9	566	59	2	825
28	1	1	1	39	7	4	103		7	615	59	6	843

種別 年	火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院 搬 送	そ の 他	合 計
29				36	10		115	2	12	619	88	6	888
30	2		2	33	19	3	147	1	11	647	64	3	932
令元			1	32	14		151		5	615	67	3	888
2	1		1	30	15	1	131	2	5	573	54	3	816
3	1			33	11	3	118		6	593	63		828
4	2			34	8	1	166		13	659	56	10	949
5	1		2	27	7	2	180		6	764	69	6	1064
6			2	39	5	2	146	1	6	756	53		1012

# 救急搬送人員の推移（昭和 45 年～令和 6 年）

（単位：人）

種別 年	火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院 搬 送	そ の 他	合 計
昭 45				29	5	3	7		1	16		8	69
46				45	4	1	2		4	20		13	89
47			8	58	9	7	9	2	3	35		3	134
48				80	11	6	9		3	76		7	192
49	1		2	51	14	8	19		5	104	1	5	210
50	1		1	68	19	7	16	2	4	106	13	8	245
51				83	12	10	21	2	1	110	20	4	263
52		5	4	69	11	14	29	1	2	157	21	8	321
53	1			84	10	9	38	1	3	161	39	2	348
54			1	70	14	10	38	1	1	186	30	3	354
55		1	2	70	11	7	40	4	3	158	29	3	328
56		1	2	76	13	6	36	3	1	171	42		351
57			1	83	5	13	34	2	2	171	48	4	363
58	2		2	73	8	5	41	6	6	172	32	1	348
59			3	78	6	2	54		7	185	40		375
60				77	4	5	43	1	5	174	54		363
61	1		1	96	3	9	34	2	6	156	56		364
62	1		1	64	3	3	42	1	3	192	45	1	356
63			1	69	4	7	46	3	1	230	57	2	420
平元				99	9	8	46	1	5	222	54		444
2			1	75	5	12	59	1	4	270	69		496
3	5		1	95	8	3	51	2	3	238	62		468
4				109	2	5	45		5	268	77	1	512

種別 年	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	転 院 搬 送	そ の 他	合 計
5				64	6	6	40	2	4	272	86		480
6				75	4	9	52	4	3	309	77		533
7			1	71	3	11	66	5	1	324	91		573
8	2		2	114	5	6	62	1	2	333	105	2	634
9				66	3	5	59	1	1	348	120	4	607
10				78	9	7	72	3	1	401	134		705
11			1	63	6	6	75	1	8	423	156		739
12			1	89	3	7	72		11	418	139	1	741
13	1			102	10	11	65	3	4	412	120		728
14	1		1	89	7	7	89	1	5	451	135	2	788
15	5		1	82	11	6	94	1	8	518	88	3	817
16	1		1	90	6	3	85	4	5	520	95		810
17				64	6	9	91	3	4	562	101		840
18	2			73	6	10	69	3	4	576	104		847
19				71	9	5	71	1	3	564	90		814
20				64	11	3	80	1	7	483	78		727
21				56	6	5	82	3	10	520	64	2	748
22													
23				50	7	1	71	1	4	475	65		674
24				100	7		86		7	477	71		748
25			1	70	13		76	2	2	505	78		747
26				57	15		75	2	6	530	75	2	762
27			1	47	20	4	119	1	5	552	59		808
28	2		2	48	7	4	101		4	582	59		809

種別 年	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	転 院 搬 送	そ の 他	合 計
29				50	10		110	2	6	601	88		867
30	2		2	40	19	3	146	1	9	622	64		908
令元			1	36	14		150		3	596	67		867
2	1		1	28	13	1	129	2	3	555	54		787
3	1			39	11	3	117		4	571	63		809
4	1			43	8	1	162		8	632	65		920
5			2	24	7	2	179		5	739	69	4	1037
6			2	48	5	2	145	1	6	728	53		990

# 予 防 編



# 建築確認申請・通知業態別同意状況

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

用途	種別	建築確認申請				建築確認通知			
		新築	増築	その他	合計	新築	増築	その他	合計
映画館等									
公会堂又は集会場									
キャバレー									
遊技場等									
カラオケボックス等									
料理店等									
飲食店									
百貨店・マーケット		1			1				
旅館・ホテル等									
寄宿舎・共同住宅		1			1				
病院・診療所									
老人短期入所施設・養護老人ホーム・特別養護老人ホーム・有料老人ホーム・重症心身障害児施設等									
老人デイサービスセンター・軽費老人ホーム・老人福祉センター・更正施設・助産施設・保育所・児童養護施設・知的障害児通園施設等									
幼稚園									
学校等									
図書館・博物館									
公衆浴場									
停車場等									
神社・寺院									
工場・作業場		1			1				
車庫・駐車場		1			1		1		1
倉庫		4		1	5				
各項に該当しない事業所		10			10				
複合用途対象物									
住宅						45	6		51
その他									
合計		18		1	19	45	7		52

# 火災状況と町別火災発生状況

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

町 区分		高田町	気仙町	広田町	小友町	米崎町	矢作町	竹駒町	横田町	合計
火災件数			1	1	2	2				6
火災種別	建物			1		1				2
	林野									
	船舶									
	車両		1			1				2
	その他				2					2
焼損棟数	全焼			1						1
	半焼									
	部分焼									
	ぼや					1				1
焼損世帯	全焼			1						1
	半焼									
	部分焼									
	ぼや									
罹災人員				3						3
焼失面積	建物(m <sup>2</sup> )			19.68						19.68
	林野(a)									
損害額(千円)			138	23	79	71				311
死傷者	死者									
	負傷者			1						1

## 5年間の月別火災件数

(令和2年～令和6年)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和2年						1						1	2
令和3年	2			2									4
令和4年	3			1					1		1		6
令和5年	1		1		1			2			1	3	9
令和6年	1			2		1		1		1			6
合 計	7		1	5	1	2		3	1	1	2	4	27

## 月別火災予防広報状況

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
回 数	13	12	15	6	8						6	3	63

## 過去の火災記録（損害額 100 万円以上又は死者のあったもの）

（令和 6 年 12 月 31 日まで）

年月日	出火時間	場 所	火災 種別	原 因	死者	損害額 (千円)
明治 元. 4. 12	夜	高田村 139 戸焼失	建 物	参 考		
7. 7. 4		広田村泊出火 慈恩寺類焼失	〃	〃		
39. 3. 23	23:30	高田町馬場出火 300 戸焼失	〃	〃		
大正 3. 4. 23	10:30	横田村 173 戸 竹駒 7 戸焼失	〃	〃		
昭和 12. 7		竹駒小学校焼失	〃	〃		
21. 11		竹駒国民学校旧校舎焼失	〃	〃		
21. 3. 21		横田村役場焼失	〃	〃		
21. 4. 24		横田村山林 20 町歩 民家 3 戸焼失	山 林 建 物	〃		
22 . 2		矢作村 12 戸焼失	建 物	〃		
22. 4. 2		矢作村山林 15 町歩 民家 12 戸焼失	山 林 建 物	〃		
25. 2. 28		小友村只出 17 戸焼失	建 物	〃		
29. 4. 24		横田村槻沢 3 戸焼失	〃	〃		
32. 4. 14	3:20	気仙町字古谷	〃	不 明		16, 460
〃	19:45	高田町字馬場前	〃	〃		2, 645
32. 10. 2	11:15	横田町字南行	〃	〃		1, 130
33. 1. 1	14:55	小友町字茗荷	〃	弄 火		2, 129
34. 2. 2	20:10	米崎町字脇の沢	〃	不 明	1	9, 696
34. 5. 2	12:30	矢作町字中平	〃	煙 突		1, 060
34. 12. 21	1:15	米崎町字沼田	〃	乾 燥 機		1, 200
35. 2. 15	11:50	気仙町字中堰	〃	不 明		8, 500
36. 2. 21	19:40	矢作町字的場	〃	提 灯		2, 500

年月日	出火時間	場 所	火災 種別	原 因	死者	損害額 (千円)
36. 7. 31	0:15	高田町字館の沖	建 物	漏 電		8,150
36.12. 11	1:30	高田町字洞の沢	〃	不 明		1,000
38. 3. 12	23:20	横田町字宝田	〃	こ た つ		2,000
38. 4. 23	16:35	気仙町字要谷	〃	乾 燥 機		2,000
40. 1. 18	1:10	高田町字長砂	〃	ス ト ー ブ		20,000
40.12. 7	13:00	矢作町字神明前	〃	か ま ど		1,700
41. 2. 1	22:00	高田町字森の前	〃	軸 受 の 加 熱		4,105
41.11. 27	14:45	米崎町字沼田	〃	プ ロ パ ン		2,900
43. 8. 22	11:10	米崎町字和野	〃	弄 火 の 疑 い		1,700
44. 4. 12	17:00	米崎町字野沢	その他	放 火	1	—
44. 5. 24	18:30	高田町字大石	建 物	溶 接 機		9,338
45. 1. 18	1:55	広田町字黒崎	〃	こ た つ		1,506
45. 5. 19	13:20	矢作町字坂下	〃	コ ン ロ		2,100
47. 1. 15	8:20	矢作町字的場	〃	こ た つ		2,485
47. 3. 26	13:55	矢作町字片地家	〃	ロ ー ソ ク		3,670
47. 7. 9	10:45	矢作町字二田野	〃	コ ン ロ		2,540
47. 7. 11	16:50	竹駒町字大畑	〃	ス ト ー ブ		1,706
47. 7. 26	6:30	高田町字山苗代	〃	ロ ー ソ ク		1,908
47. 9. 17	3:15	横田町字南行	〃	コ ン ロ		2,600
49. 1. 12	13:25	広田町字平畑	〃	ガ ス コ ン ロ		2,900
49.11. 27	5:30	高田町字栃ヶ沢	〃	ス ト ー ブ		2,468
49.12. 18	17:45	矢作町字袖野	〃	コ ン ロ		1,000

年月日	出火時間	場 所	火災 種別	原 因	死者	損害額 (千円)
50. 3. 20	2:00	高田町字砂畑	建 物	放 火		2,960
51. 1. 13	18:55	気仙町字町	〃	電 球 の 過 熱		1,160
51. 1. 21	2:55	広田町字山田	〃	か ま ど		9,100
51. 2. 18	18:00	高田町字森の前	〃	タ バ コ		1,300
51. 9. 19	1:20	広田町字根岬	〃	風 呂 釜		7,300
53. 4. 22	10:00	竹駒町字相川	原 野	火入れの火の粉	1	—
53. 7. 10	3:00	気仙町字牧田	車 両	内 燃 機 関		3,063
53. 10. 6	17:25	矢作町字金屋敷	建 物	煙 突		6,200
55. 2. 15	19:15	横田町字久連坪	〃	風呂のかまどの火の粉		7,799
55. 6. 19	9:10	矢作町字清水	〃	ガ ス コ ン ロ		1,870
56. 2. 10	22:50	気仙町字中瀬	〃	タ バ コ	1	40
56. 4. 3	18:35	横田町字舞出	〃	電 気 コ タ ツ		17,270
56. 4. 30	13:20	横田町字久連坪	〃	自動販売機電源 コード接触不良		16,963
56. 7. 30	15:10	小友町字冥加沢	〃	火 遊 び		6,500
57. 3. 10	11:40	米崎町字川内	〃	ガ ス コ ン ロ		5,000
57. 11. 8	4:15	横田町字梅の木	〃	風呂のかまどの加熱		12,363
58. 2. 4	9:25	気仙町字町	〃	石 油 ス ト ー ブ	1	19,040
58. 5. 23	11:50	気仙町字上長部	〃	タ バ コ		11,011
58. 5. 27	0:40	高田町字並杉（店舗）	〃	不 明		389,213
58. 8. 12	16:05	矢作町字神明前	〃	不 明		18,580
58. 8. 13	22:25	気仙町字町裏	〃	放 火		8,000
58. 9. 23	3:55	米崎町（学校火災）	〃	た き 火		6,550

年月日	出火時間	場 所	火災 種別	原 因	死者	損害額 (千円)
58. 11. 26	4:50	高田町字館の沖	建 物	石 油 ス ト ー プ		15,740
58. 12. 24	12:30	気仙町字湊	船 舶	電 気 コ ン ロ		5,500
59. 1. 24	15:45	気仙町字町	建 物	電 気 配 線		7,120
59. 3. 26	9:10	高田町字本丸	その他	放 火 （ 自 殺 ）	1	—
59. 5. 3	21:45	高田町字馬場	建 物	不 明		1,194
59. 8. 1	23:30	矢作町字寺前	〃	不 明		4,890
59. 9. 25	18:40	気仙町（工場）	〃	ガ ス コ ン ロ （天ぷら油）		5,030
59. 10. 27	2:30	高田町字館の沖（スナック）	〃	タ バ コ		5,080
61. 4. 6	20:10	小友町字上新田	〃	風 呂 釜	1	2,310
61. 9. 13	17:30	小友町字金浜	〃	風呂の燃料漏れ		9,674
62. 3. 9	22:00	高田松原	その他	放 火 （ 自 殺 ）	1	—
63. 1. 11	19:00	気仙町字町	建 物	ガ ス コ ン ロ		32,198
63. 3. 13	1:10	矢作町字的場	〃	こ た つ		6,592
63. 10. 9	19:00	矢作町字鍋谷	〃	〃		7,950
64. 1. 6	23:30	広田町字久保	〃	〃		6,423
平成 元. 2. 15	4:55	矢作町字上小黒山	〃	〃		5,315
2. 2. 8	4:00	米崎町字地竹沢	〃	電気ファンヒーター		22,557
2. 9. 6	15:35	高田町字荒町	〃	ガ ス 湯 沸 器		3,782
2. 9. 24	14:00	気仙町字湊	〃	タ バ コ		15,857
2. 12. 25	22:30	高田町字大石	〃	温 風 ヒ ー タ ー		40,490
3. 1. 8	2:20	矢作町字的場	〃	取 灰		9,809
3. 2. 20	22:00	気仙町字丑沢	その他	放 火 （ 自 殺 ）	1	—

年月日	出火時間	場 所	火災 種別	原 因	死者	損害額 (千円)
3. 3. 30	19:00	横田町字舞出	建 物	い ろ り	1	—
3. 8. 20	9:30	米崎町字川向	建 物	配 電 盤		27, 516
3. 11. 5	16:00	広田町字前花貝	〃	不 明		25, 123
3. 12. 20	15:00	高田町字裏田	〃	〃		14, 365
3. 12. 24	22:25	高田町字並杉	〃	こ た つ		2, 238
3. 12. 30	23:30	気仙町字町裏	〃	火 遊 び	1	450
4. 1. 6	13:20	気仙町字福伏	〃	電気コンセント		29, 249
4. 3. 3	10:30	気仙町字愛宕下	山 林	た き 火	1	630
4. 4. 2	0:40	高田町字馬場前	建 物	不 明	1	13, 126
4. 5. 20	8:30	高田町字中宿	〃	タ バ コ		6, 557
4. 9. 12	12:30	小友町字後谷地	〃	不 明		4, 650
4. 12. 23	0:35	高田町字曲松	〃	〃		9, 144
5. 2. 8	5:40	広田町字大陽	〃	煙 突		30, 130
5. 3. 28	15:00	気仙町字愛宕下	〃	コ ン ロ		1, 176
5. 3. 30	11:50	小友町字三日市	〃	火 の 粉		2, 276
5. 4. 7	14:40	高田町字大石	〃	電 気 こ た つ		28, 411
6. 4. 18	7:40	気仙町字奈々切	〃	ス ト ー ブ		30, 850
6. 8. 10	11:00	広田町字泊	〃	不 明		1, 148
7. 2. 3	14:00	矢作町字金屋敷	林 野	ゴ ミ 焼 き	1	—
7. 5. 19	13:30	広田町字長洞	建 物	練 炭 コ ン ロ		2, 744
8. 1. 25	23:30	横田町字舞出	〃	放 火 ( 自 殺 )	1	14, 917
8. 4. 24	1:15	高田町字馬場前	〃	タ バ コ	2	18, 200



年月日	出火時間	場 所	火災 種別	原 因	死者	損害額 (千円)
10. 1. 2	8:50	米崎町字川向	建 物	ロ ー ソ ク		13, 141
10. 6. 21	23:00	小友町字三日市	〃	タ バ コ		5, 330
11. 10. 18	10:00	竹駒町字相川	〃	放 火		7, 765
12. 1. 16	7:50	横田町字弧舞柳	〃	漏 電		24, 023
12. 6. 3	18:47	米崎町字沼田	〃	火 遊 び		7, 173
12. 8. 3	10:30	気仙町字上長部	〃	漏 電		3, 824
14. 2. 6	18:15	米崎町字松峰	〃	ス ト ー ブ		1, 114
14. 5. 2	18:30	気仙町字牧田	〃	不 明		7, 924
14. 12. 16	16:45	小友町字上の坊	〃	不 明		21, 124
15. 2. 15	1:40	矢作町字愛宕下	〃	タ バ コ	1	4, 204
15. 6. 19	11:30	高田町字馬場前	〃	電 気 配 線	1	17, 164
15. 10. 3	15:53	高田町字西和野	〃	粉 塵 爆 発		3, 132
15. 12. 29	2:20	矢作町字山崎	〃	不 明	1	3, 436
16. 12. 23	2:30	米崎町字堂の前	〃	ス ト ー ブ		24, 676
17. 2. 26	20:55	矢作町字二又	〃	タ バ コ		3, 123
17. 4. 3	10:35	米崎町字道の上	その他	マ ッ チ	1	—
17. 4. 22	20:18	高田町字長砂	建 物	ス ト ー ブ		5, 269
18. 6. 29	1:44	気仙町字上長部	〃	放 火	4	1, 818
19. 3. 2	1:00	気仙町字垂井ヶ沢	〃	タ バ コ	2	9, 002
20. 12. 11	19:10	広田町字泊	〃	煙 突		4, 649
21. 5. 2	11:50	矢作町字二田野	〃	枯 枝 焼 き		2, 079
23. 4. 8	10:58	横田町字志田実	〃	ゴ ミ 焼 き		3, 135

年月日	出火時間	場 所	火災 種別	原 因	死者	損害額 (千円)
23. 4. 11	14:34	米崎町字神田	建 物	不 明		3,933
23. 12. 14	5:38	矢作町字三の戸	〃	タ バ コ	1	757
23. 12. 22	14:11	気仙町字愛宕下	車 両	放 火（自殺）	1	10
24. 6. 24	1:00	高田町字鳴石	建 物	不 明	1	1,919
25. 4. 29	8:15	気仙町字愛宕下	車 両	短 絡		2,300
26. 1. 14	1:30	竹駒町字仲の沢	建 物	不 明		70,730
26. 2. 2	6:40	横田町字槻沢	〃	不 明		3,031
26. 12. 8	2:00	気仙町字二日市	〃	不 明		15,227
27. 4. 12	14:47	米崎町字川内	〃	放 火（自殺）	1	75
27. 7. 14	14:55	気仙町字古谷	〃	不 明		9,484
28. 12. 11	15:30	竹駒町字滝の里	その他	木 材 加 工 機		4,509
29. 2. 17	22:35	横田町字友沼	建 物	放 火		62,289
29. 11. 5	1:15	小友町字唯出	〃	放 火（自殺）	1	9,606
31. 3. 1	11:23	気仙町字牧田	建 物	不 明	1	32,735
令和 元. 10. 17	19:30	竹駒町字下壺	〃	火 花		6,077
2. 12. 21	20:55	竹駒町字下壺	〃	ス ト ー ブ		16,176
3. 1. 12	16:50	矢作町字飯森	〃	ス ト ー ブ		14,212
3. 1. 12	18:20	高田町字西和野	〃	不 明		13,255
3. 4. 1	10:30	小友町字茗荷	車 両	オ イ ル 漏 れ		2,601
4. 1. 6	6:00	米崎町字松峰	建 物	不 明	1	3,446
4. 4. 5	4:45	高田町字館の沖	〃	ス ト ー ブ	1	25,343
5. 8. 8	2:00	高田町字大隅	〃	不 明		4,576
5. 12. 14	0:10	高田町字鳴石	〃	不 明	2	1,505

## 幼年消防クラブの状況

(令和 7 年 4 月 1 日現在)

ク ラ ブ 名 称	結 成 年 月 日	クラブ員数
広田保育園幼年消防クラブ	昭和 60 年 5 月 1 日	20
高田保育所幼年消防クラブ	昭和 61 年 5 月 1 日	24
気仙保育所幼年消防クラブ	昭和 61 年 5 月 1 日	12
小友保育所幼年消防クラブ	昭和 61 年 5 月 1 日	5
米崎保育園幼年消防クラブ	昭和 61 年 5 月 1 日	18
竹駒保育園幼年消防クラブ	昭和 61 年 5 月 1 日	8
横田保育園幼年消防クラブ	昭和 61 年 5 月 1 日	0
下矢作保育園幼年消防クラブ	昭和 61 年 5 月 1 日	3

※長部保育所・今泉保育所は令和元年 4 月 1 日に統合し、気仙保育所に名称変更

## 少年消防クラブの状況

(令和 7 年 4 月 1 日現在)

ク ラ ブ 名 称	結 成 年 月 日	クラブ員数
小友小学校少年消防クラブ	平成 10 年 12 月 3 日	79

# 通信指令編

## 消防車両別通信機器の設置状況

(令和 7 年 4 月 1 日現在)

車 両 名	デ ジ タ ル 車 載 無 線 機 呼 出 名 称	デ ジ タ ル 携 帯 無 線 機 呼 出 名 称	ア ナ ロ グ 携 帯 無 線 機 呼 出 名 称	A V M	衛星 電話
タンク 1 号車	たかたたんく 1	たかた 51		有	
救助タンク 2 号車	たかたきゅうじょ 2	たかた 52		有	
ポンプ 1 号車	たかたぽんぷ 1	たかた 53		有	
救急 1 号車	たかたきゅうきゅう 1	たかた 55		有	有 (車載型)
救急 2 号車	たかたきゅうきゅう 2	たかた 56		有	有 (携帯型)
救急 3 号車	たかたきゅうきゅう 3	たかた 57		有	有 (車載型)
救助タンク 1 号車	たかたきゅうじょ 1	たかた 58		有	
署 指 揮 車	たかたしき 1	たかた 62・63・64	たかしょう 201. 202. 203	有	有 (可搬型)
無線中継車	たかたちゅうけい 1			有	
支 援 車	たかたしえん 1				
積 載 車	たかたせきさい 1				
連 絡 車	たかたれんらく 1				

※ アナログ携帯無線機は防災相互波のみ運用

## 通信施設の保有状況

(令和7年4月1日現在)

### [指令設備]

種 別		配備数
指令装置	指令台	2
	自動出動指定装置	1
	地図検索装置	2
	長時間録音装置	1
	指令制御装置	1
	非常用指令設備	1
	署所端末装置	1
	指令情報送信装置	1
	指令情報出力装置	2
	統合型位置情報通知装置	1
	音声合成装置	1
	出動車両運用管理装置	1
	車両運用端末装置（Ⅲ型）	10
	システム監視装置	1
	防災無線連動集中制御装置	1
	高所監視カメラ装置	1
	気象情報収集装置	1
	駆け込み通報装置	1
表示盤装置	車両運用表示盤	1
	支援情報表示盤	1
	多目的情報表示盤	6
	映像制御装置	1
電源装置	無停電電源装置	2
	直流電源装置（48V系）	1
	直流電源装置（12V系）	1
	非常用発電機	1

### [通信設備]

種 別		回線数
119番専用回線	N T T 固定電話	4
	携帯電話	4
	I P 電話（重畳方式）	4
	F A X 1 1 9	1
	駆け込み通報装置	1
	ヘルプネット（重畳方式）	2
	携帯電話転送	2
電話回線等	N e t 1 1 9	1
	画像伝送回線	3
	順次指令回線	2
	災害情報案内	2
	指令台局線	2
	携帯電話	3
	車載型衛星電話	2
	可搬型衛星電話	2
	一般加入電話	2
	F A X 回線	2

## 消防無線設備の保有状況

(令和 7 年 4 月 1 日現在)

種 別	消防本部 消 防 署	消 防 団	合 計
基地局（消防本部・仁田山）	2		2
回線制御装置	1		1
遠隔制御装置（遠操用）	4		4
遠隔制御装置（局操用）	6		6
車載型移動局	15	8	23
可搬型移動局	2	2	4
携帯型移動局	19	46	65
卓上型受令機	2		2
無線中継装置	1		1

## 覚知別受信状況

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

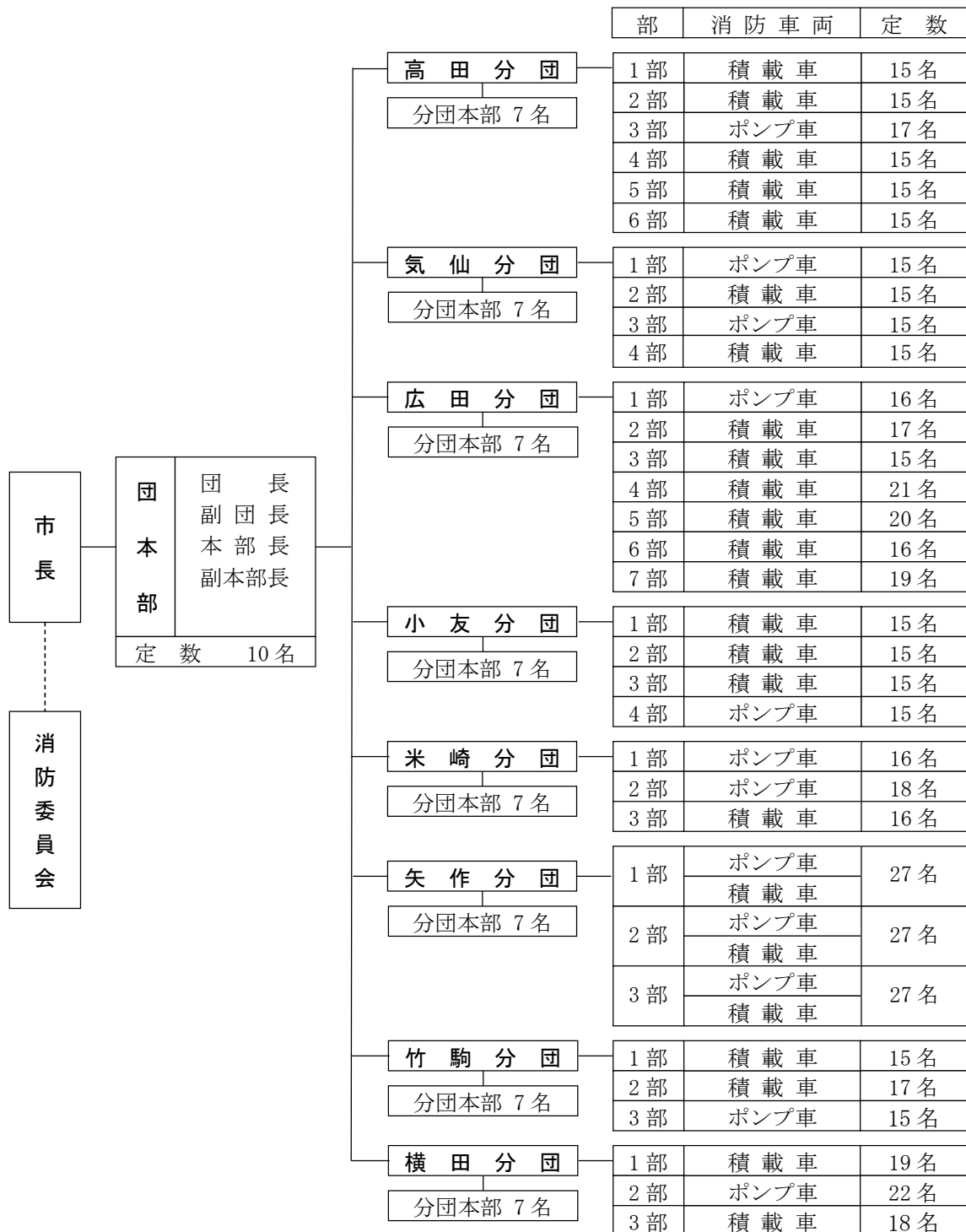
種別 覚知別	災害受信件数				災害以外の119番受信件数				合 計
	火 災	救 急	救 助	その他 の災害	問合せ	回線試験 訓 練	悪 戯 間違い	その他	
1 1 9 (固定)		180			2	111	5	8	306
1 1 9 ( I P )	1	269		1	2	66	6	10	355
1 1 9 (携帯)	1	439	5	1	12	31	33	68	590
加 入 電 話	1	96		19	2	1	25	40	184
F A X 1 1 9									
N e t 1 1 9									
ヘルプネット		1				12		4	17
駆 け 付 け		14				1			15
そ の 他		2		2					4
合 計	3	1001	5	23	18	222	69	130	1471



# 消 防 団 編

# 消 防 団 の 組 織

[条例定数 639 名]



## 消 防 団 幹 部

(令和 7 年 4 月 1 日現在)

団 長	大 坂 司
副 団 長	佐 藤 安 雄
副 団 長	小野寺 智 徳
本 部 長	照 井 智 晴
副 本 部 長	佐 藤 一 男
副 本 部 長	村 上 桂
副 本 部 長	砂 田 光 也

高田分団長	佐々木 章 宏
気仙分団長	菅 野 昭 憲
広田分団長	熊 谷 秀 孝
小友分団長	吉 田 先 穂
米崎分団長	金 野 崇
矢作分団長	菊 池 等
竹駒分団長	菅 野 貢 士
横田分団長	菅 野 生 一

## 消防団員の階級別現員数

(令和 7 年 4 月 1 日現在)

階級 所属	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
団 本 部	1	2	1	3	1	1		9
高田分団			1	2	7	25	39	74
気仙分団			1	2	5	15	17	40
広田分団			1	2	8	30	78	119
小友分団			1	2	5	17	20	45
米崎分団			1	2	4	14	27	48
矢作分団			1	2	4	18	31	56
竹駒分団			1	2	4	13	16	36
横田分団			1	2	4	15	38	60
合 計	1	2	9	19	42	148	266	487

## 消防団員の階級別年齢状況

(令和 7 年 4 月 1 日現在)

階級 年齢	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
20 歳未満								
20～24 歳							14	14
25～29 歳						1	40	41
30～34 歳					1	5	68	74
35～39 歳						20	61	81
40～44 歳					4	46	49	99
45～49 歳				8	19	55	16	98
50～54 歳			5	7	16	18	9	55
55～59 歳		1	2	4	1	1	5	14
60 歳以上	1	1	2		1	2	4	11
合 計	1	2	9	19	42	148	266	487

## 消防団の消防車両等の配置状況

(令和7年4月1日現在)

種別 所属	合 計	内 訳		
		消 防 ポ ン プ 車	消 防 団 指 揮 車	小型動力ポンプ 積 載 車
団 本 部	2		1	1
高 田 分 団	6	1		5
気 仙 分 団	4	2		2
広 田 分 団	7	1		6
小 友 分 団	4	1		3
米 崎 分 団	3	2		1
矢 作 分 団	6	3		3
竹 駒 分 団	3	1		2
横 田 分 団	3	1		2
合 計	38	12	1	25

## 消防ポンプの現勢

### (1) 消防ポンプ車

(令和 7 年 4 月 1 日現在)

所 属	型 式	ポンプ種別	製 作 所	配備年度
高田分団第 3 部	日野 TKG-XZU685M	二段バランス	株式会社モリタ	平成 25 年
気仙分団第 1 部	〃	〃	〃	〃
気仙分団第 3 部	いすゞ 2PG-NMS88AN	〃	長野ポンプ株式会社	令和元年
広田分団第 1 部	日野 TKG-XZU685M	〃	株式会社モリタ	平成 24 年
小友分団第 4 部	日野 BDG-XZU378M	〃	〃	平成 21 年
米崎分団第 1 部	日野 TKG-XZU685M	〃	〃	平成 26 年
米崎分団第 2 部	日野 BDG-XZU378M	〃	〃	平成 22 年
矢作分団第 1 部	いすゞ TKG-NMS85AN	〃	〃	平成 29 年
矢作分団第 2 部	いすゞ TKG-NMS85AN	〃	長野ポンプ株式会社	平成 28 年
矢作分団第 3 部	日野 TKG-XZU685M	〃	株式会社モリタ	平成 27 年
竹駒分団第 3 部	日野 TKG-XZU685M	〃	〃	平成 24 年
横田分団第 2 部	日野 2KG-XZU685M	〃	〃	令和 2 年

(2) 小型動力ポンプと積載車

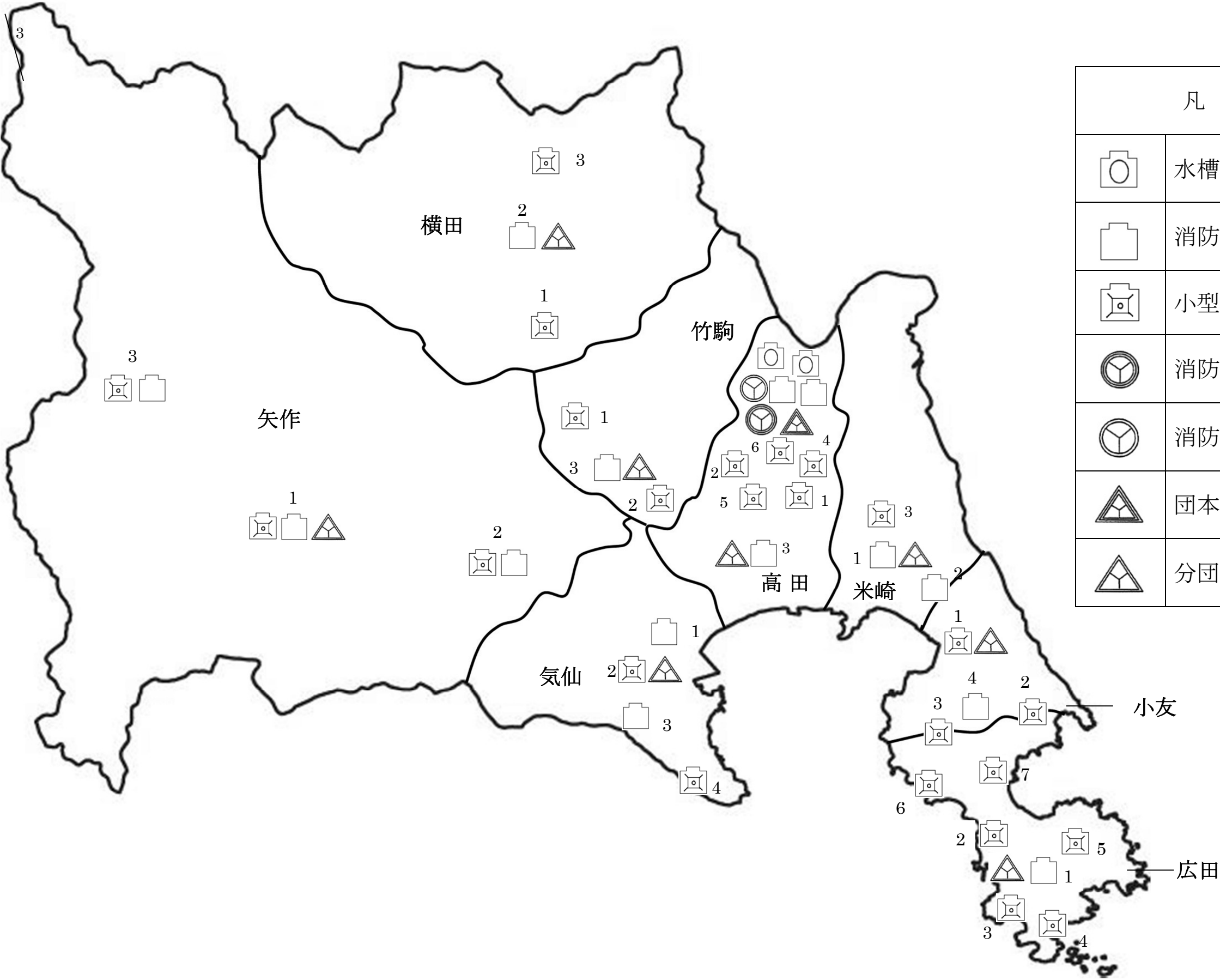
(令和7年4月1日現在)

所 属	小型ポンプ 名 称	購 入 先 等	小型ポンプ 配 備 年 度	積 載 車 名	積 載 車 配 備 年 度
団 本 部	トーハツ	総務省消防庁 より貸与	平成 24 年	ニッサン アトラス	平成 24 年
高田分団第 1 部	〃	株式会社古川 ポンプ製作所	平成 24 年	トヨタ ダイナ	平成 24 年
高田分団第 2 部	〃	〃	平成 25 年	トヨタ ダイナ	平成 25 年
高田分団第 4 部	〃	JA 共済連 より寄贈	平成 24 年	トヨタ ダイナ	平成 24 年
高田分団第 5 部	〃	株式会社古川 ポンプ製作所	平成 25 年	トヨタ ダイナ	平成 25 年
高田分団第 6 部	〃	互光商事 株式会社	平成 30 年	トヨタ ダイナ	平成 30 年
気仙分団第 2 部	〃	株式会社古川 ポンプ製作所	平成 25 年	トヨタ ダイナ	平成 25 年
気仙分団第 4 部	〃	〃	平成 28 年	トヨタ トヨエース	平成 28 年
広田分団第 2 部	〃	〃	平成 24 年	トヨタ ハイエース	平成 24 年
広田分団第 3 部	〃	〃	平成 29 年	トヨタ トヨエース	平成 29 年
広田分団第 4 部	〃	〃	平成 22 年	トヨタ ダイナ	平成 22 年
広田分団第 5 部	〃	〃	平成 20 年	トヨタ トヨエース	平成 20 年
広田分団第 6 部	〃	互光商事 株式会社	平成 30 年	トヨタ ダイナ	平成 30 年
広田分団第 7 部	〃	株式会社古川 ポンプ製作所	令和 2 年	トヨタ ダイナ	令和 2 年

所 属	小型ポンプ 名 称	購 入 先 等	小型ポンプ 配 備 年 度	積 載 車 名	積 載 車 配 備 年 度
小友分団第 1 部	シバウラ	株式会社 岩野商会	令和 3 年	いすゞ エルフ	令和 3 年
小友分団第 2 部	〃	有限会社 文林商会	令和元年	トヨタ トヨエース	令和元年
小友分団第 3 部	トーハツ	株式会社古川 ポンプ製作所	平成 28 年	トヨタ トヨエース	平成 28 年
米崎分団第 3 部	〃	〃	平成 24 年	トヨタ ダイナ	平成 24 年
矢作分団第 1 部	〃	JA 共済連 より寄贈	平成 24 年	ダイハツ ハイゼット	平成 24 年
矢作分団第 2 部	ラビット	(社)日本損害保険 協会より寄贈	平成 23 年	スズキ エブリィ	平成 23 年
矢作分団第 3 部	トーハツ	株式会社古川 ポンプ製作所	平成 22 年	ダイハツ ハイゼット	平成 22 年
竹駒分団第 1 部	〃	〃	平成 26 年	トヨタ トヨエース	平成 26 年
竹駒分団第 2 部	シバウラ	株式会社 岩野商会	令和 3 年	いすゞ エルフ	令和 3 年
横田分団第 1 部	トーハツ	株式会社古川 ポンプ製作所	平成 27 年	トヨタ トヨエース	平成 27 年
横田分団第 3 部	〃	〃	平成 21 年	トヨタ ダイナ	平成 21 年



# 陸前高田市ポンプ配置図



Instagram 陸前高田市消防本部【公式】 QRコード



## 消 防 年 報 2 0 2 5

編集発行 陸前高田市消防本部

消防本部 〒029-2205 岩手県陸前高田市高田町字栃ヶ沢 210-2  
消 防 署 TEL 0192-54-2119 FAX 0192-55-2648